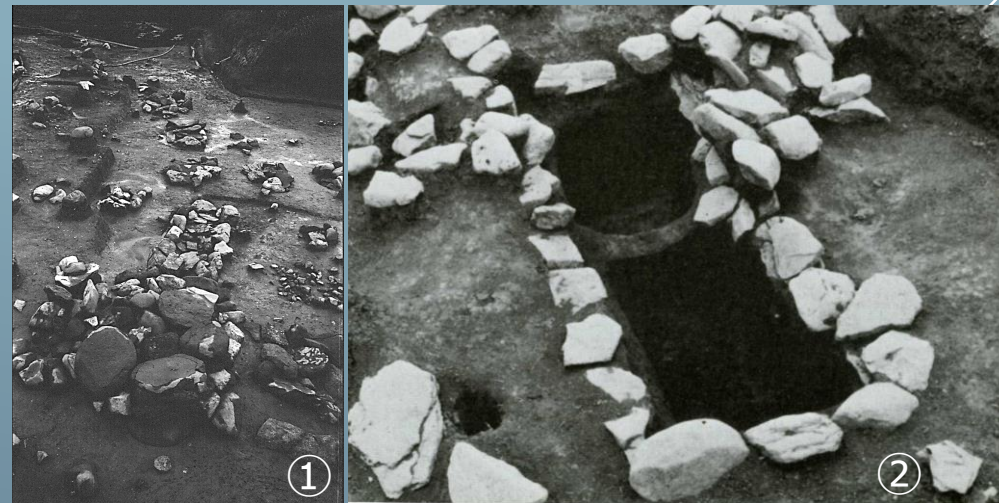


古墳出現以前のしまね

島根県古代文化センター 今福拓哉



- ①：松江市堀部第1遺跡（松江市提供） ②：松江市友田遺跡（松江市提供）
③：江津市波来浜遺跡（江津市提供） ④：邑南町順庵原1号墓
⑤：出雲市西谷墳墓群（出雲市提供）

I はじめに 本講座の目的

II 弥生時代前期の墓制 ～弥生墓制の伝播と受容～

III 弥生時代中期の墓制 ～墳丘墓の出現過程～

IV 弥生時代後期の墓制 ～墳丘墓の変容と大型墳丘墓の出現～

V 墓制の発達とその背景

はじめに

しまねの古代文化連続講座
令和6年度テーマ「しまねの古墳」

※本講座は、「しまねの古墳」の魅力を知ってもらうため、「古墳出現以前のしまね」を題材とした講座

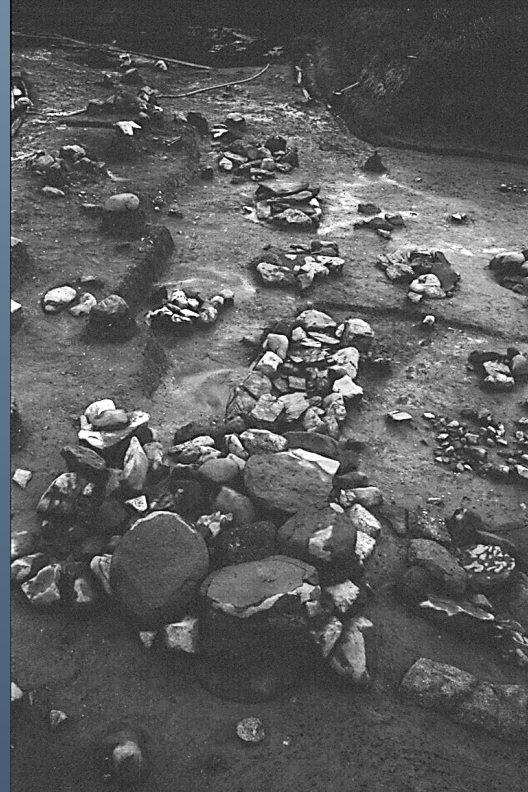
- ・ 弥生時代の墓を中心とした説明 → 古墳出現に向かう社会状況

○しまねの弥生時代の墓

大きく3つの画期が想定

- ① 新たな墓制の伝播（弥生時代前期）
- ② 墳丘墓の出現（弥生時代中期）
- ③ 大型墳丘墓の出現（弥生時代後期）

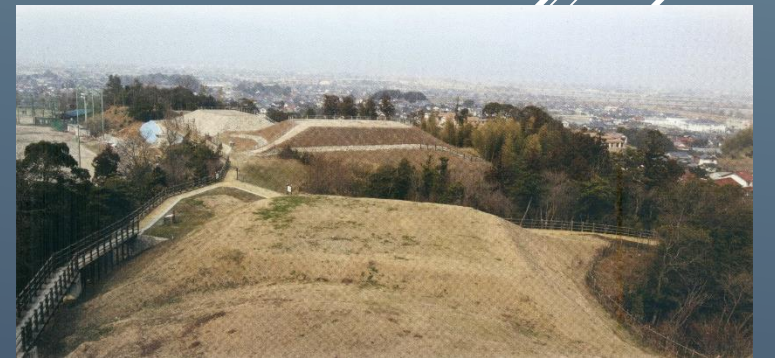
各画期ごとの墓制の概要を説明し、
弥生時代のしまねの社会を概観していきます



① 弥生時代前期の墓
松江市堀部第1遺跡（松江市提供）



② 弥生時代中期の墓（墳丘墓）
江津市波来浜遺跡（江津市提供）



③ 弥生時代後期の墓（大型墳丘墓）
出雲市西谷墳墓群（出雲弥生の森博物館提供）

I はじめに 本講座の目的

II 弥生時代前期の墓制 ～弥生墓制の伝播と受容～

III 弥生時代中期の墓制 ～墳丘墓の出現過程～

IV 弥生時代後期の墓制 ～墳丘墓の変容と大型墳丘墓の出現～

V 墓制の発達とその背景

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

弥生時代開始期のしまねの墓制

弥生時代に新たに墓制が朝鮮半島より伝播
稲作とともに伝来した新しい文化の一つ

弥生時代開始期の状況として…

縄文時代の墓制を踏襲した伝統的な縄文墓制と併存

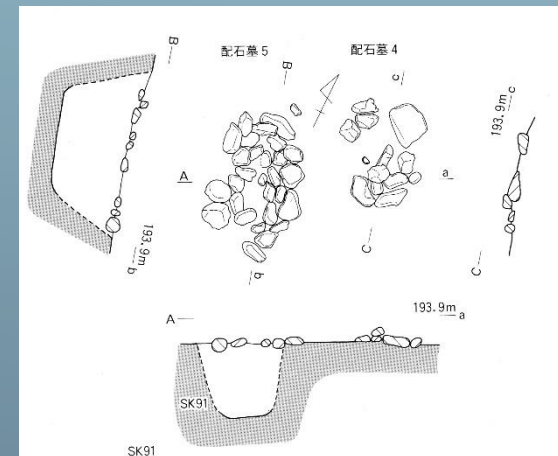
- 在来の伝統的墓制を踏襲する墓
島根県美郷町沖丈遺跡



縄文時代の墓（配石墓）

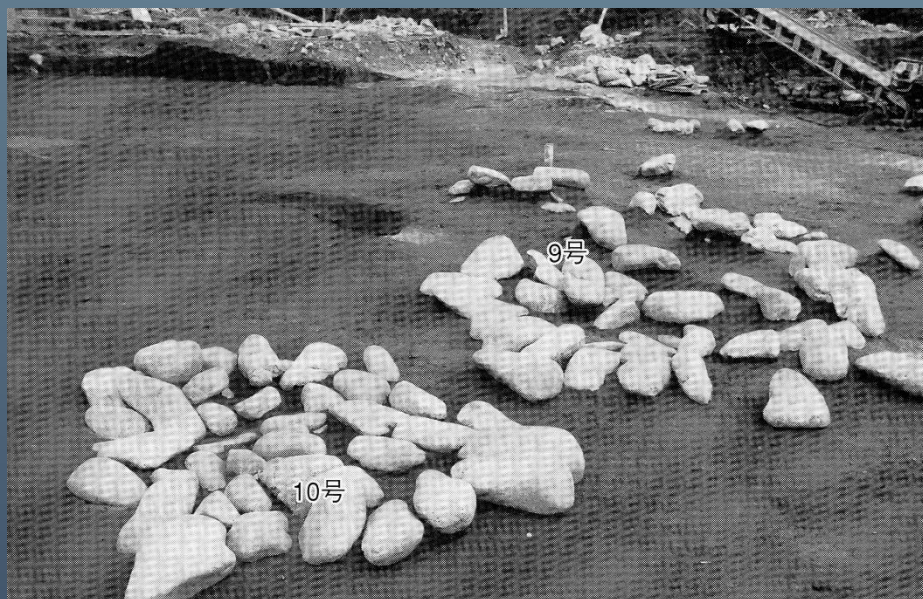
原田遺跡（島根県奥出雲町）

写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター



縄文時代の墓（配石墓）

島根県教育委員会2006より

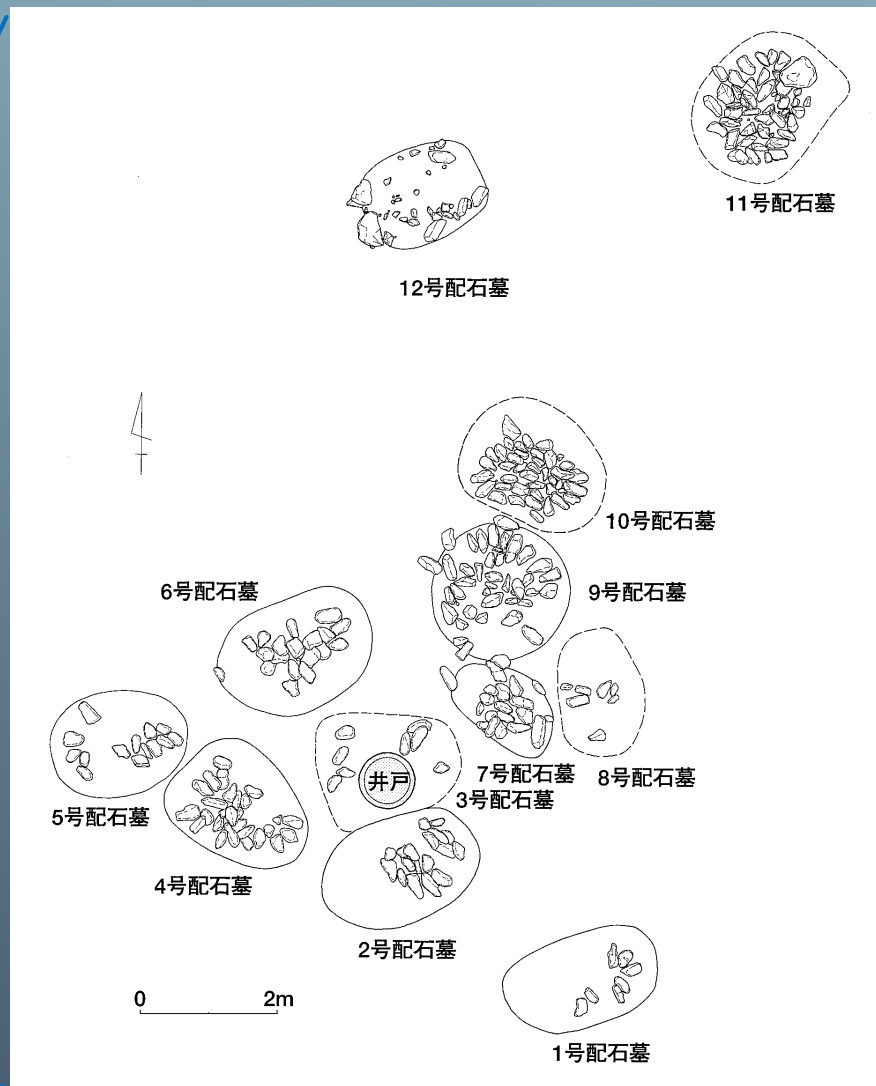
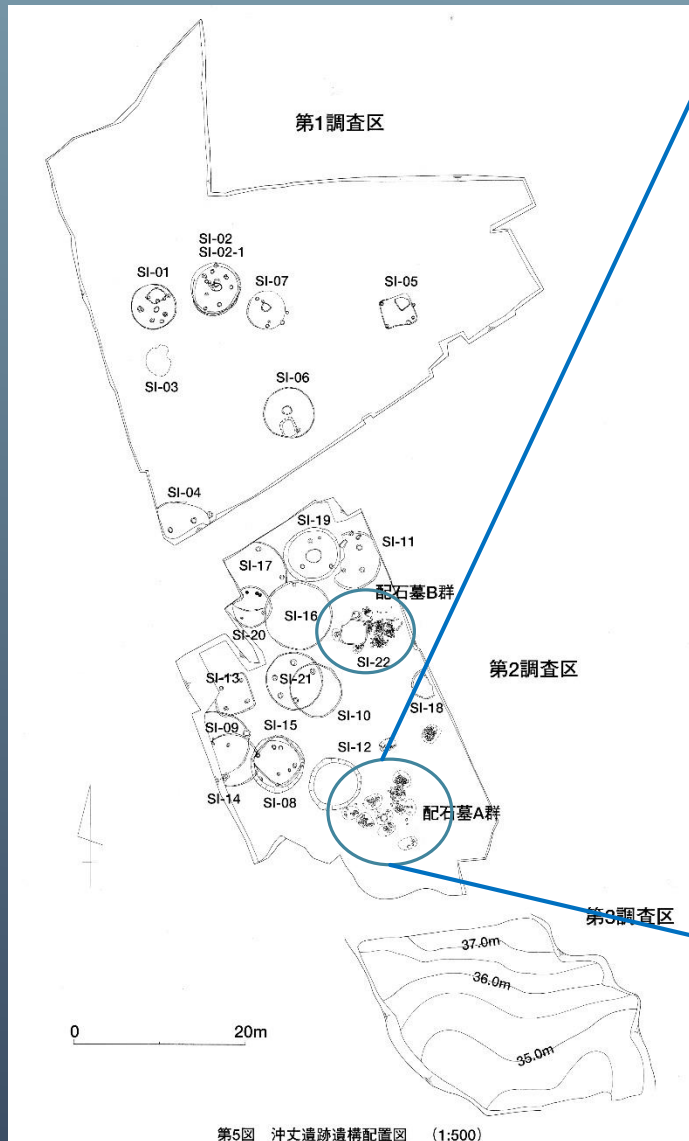


沖丈遺跡配石墓A群
縄文時代以来の墓制（配石墓）

写真提供：美郷町教育委員会

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

- 在来の伝統的墓制を踏襲する墓
島根県美郷町沖丈遺跡



沖丈遺跡配石墓A群 (美郷町教育委員会2001より)

沖丈遺跡遺構配置図 (美郷町教育委員会2001より)

縄文以来の伝統的墓制の特徴

- ・ 墓墳 (埋葬するための穴) の上部に石を配置する (配石墓)
- ・ 墓の集合 (墓群) 内の配置は集塊状の配置
- ・ 石の配列に明確な意図 (四隅の意識など) は認められない

縄文時代から続く、しまねの墓制を踏襲した様相を示す

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

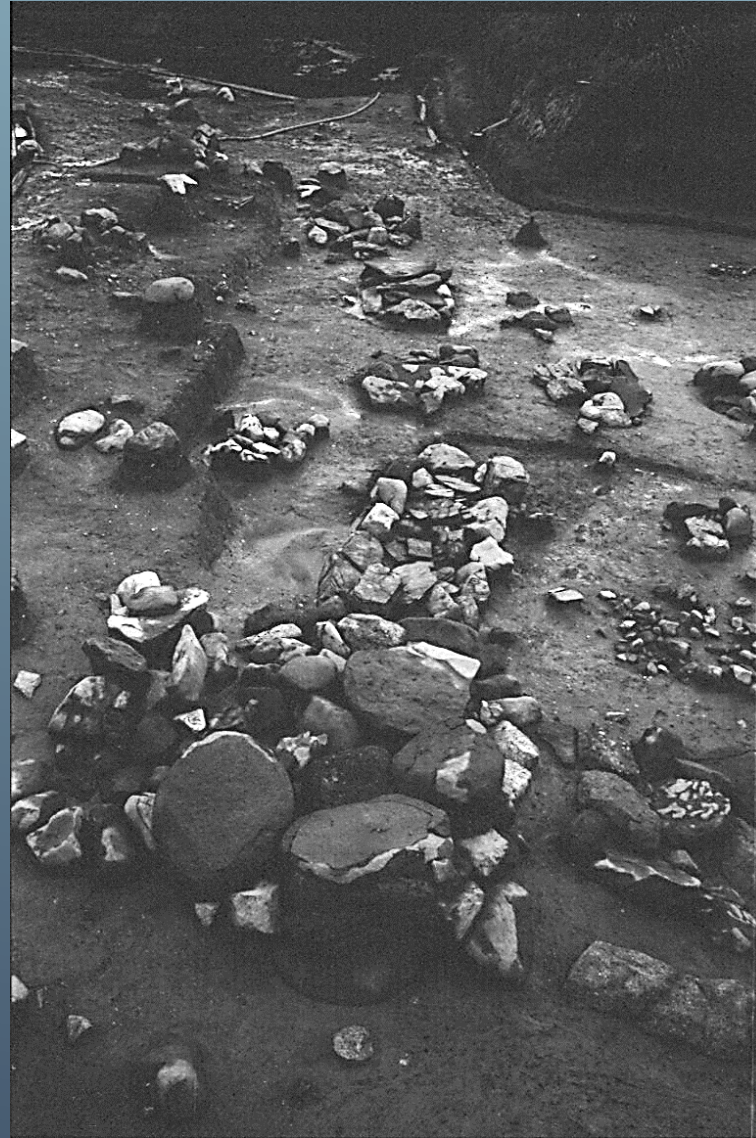
- 弥生新文化を受容した墓
島根県松江市堀部第1遺跡



堀部第1遺跡全景
写真提供：松江市



堀部第1遺跡6号墓
写真提供：松江市

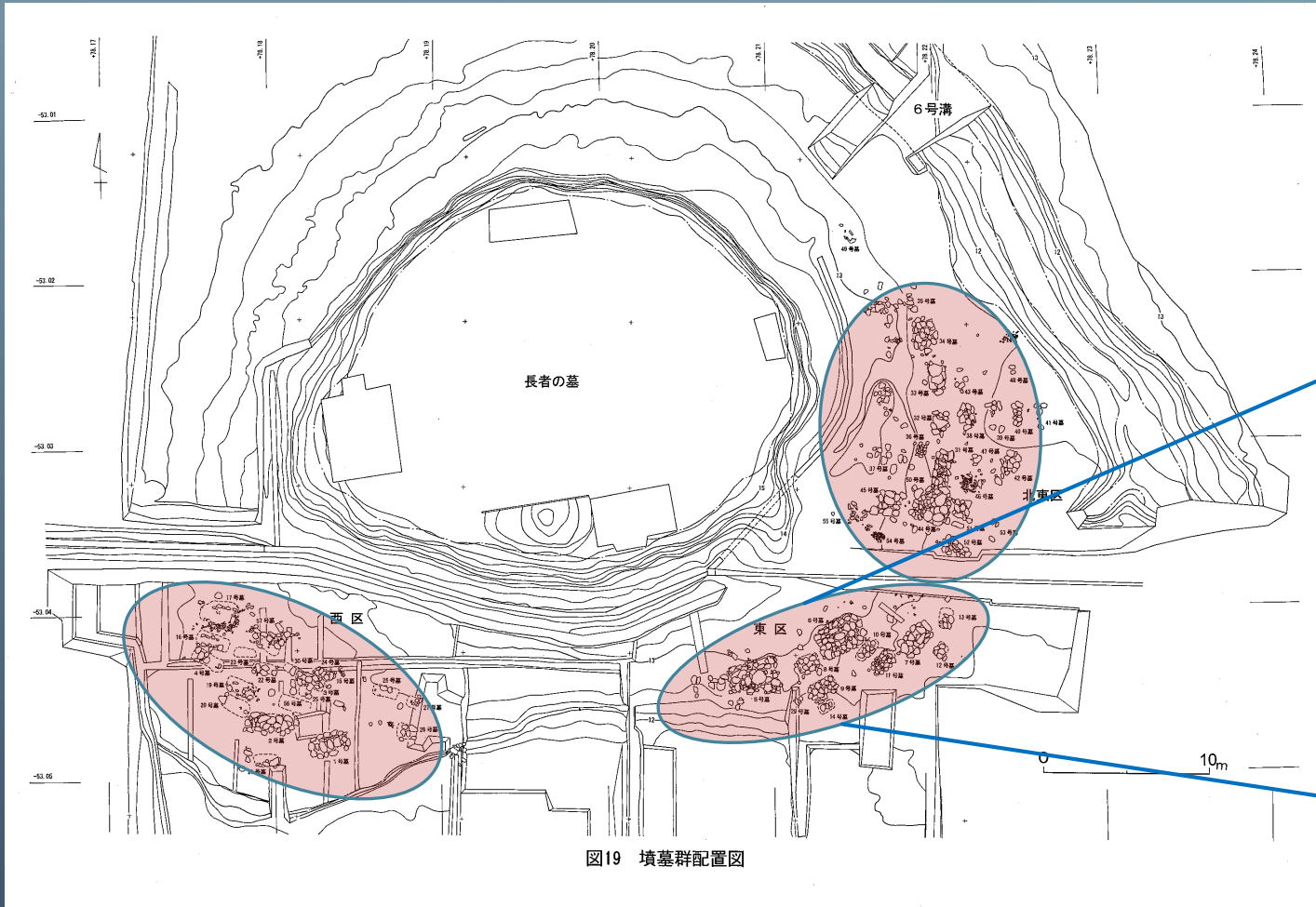


堀部第1遺跡出土遺物
写真提供：松江市

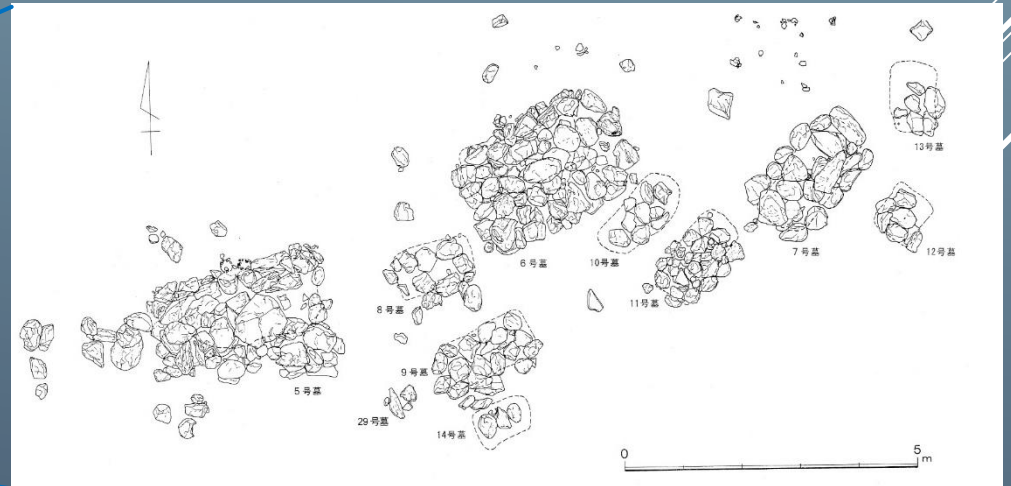
堀部第1遺跡北東区配石墓群
写真提供：松江市

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

- 弥生新文化を受容した墓
島根県松江市堀部第1遺跡



堀部第1遺跡東区配石墓群 写真提供：松江市



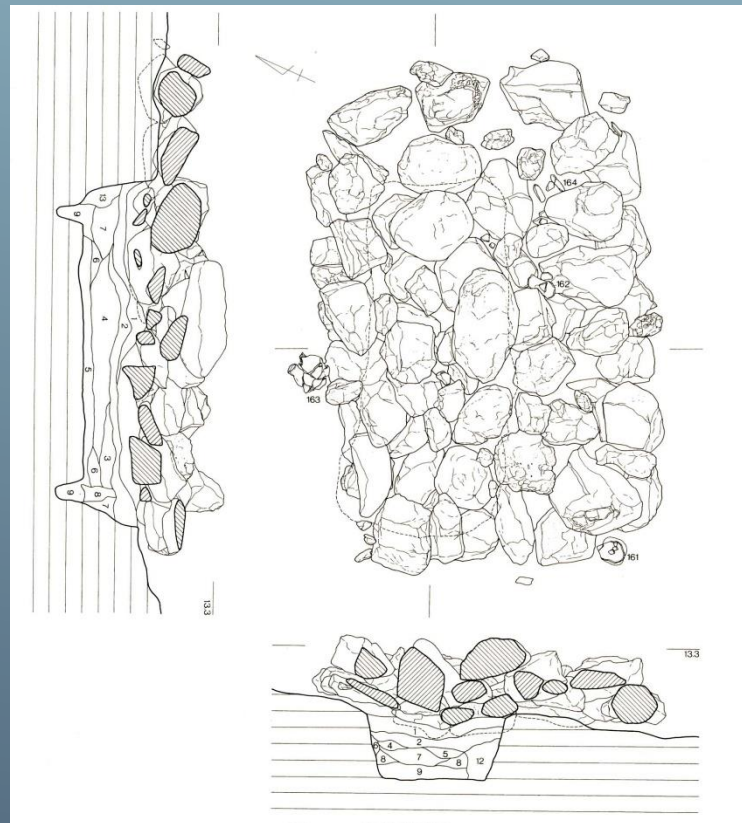
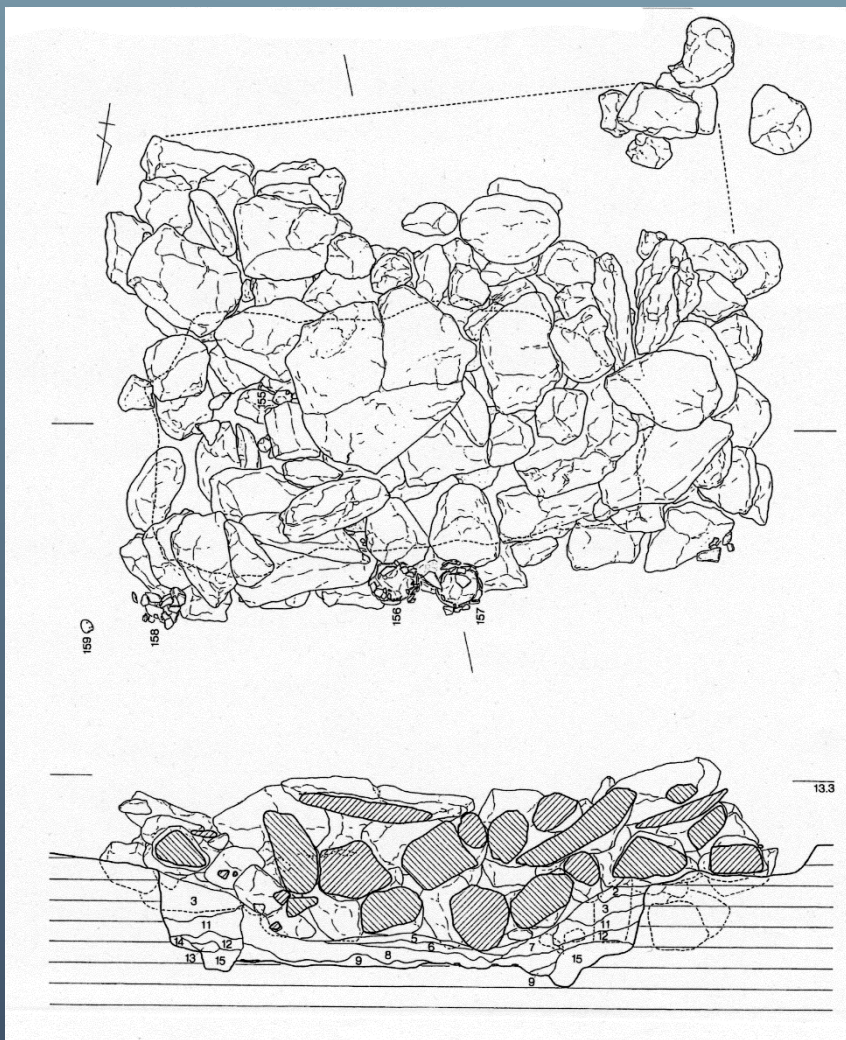
堀部第1遺跡東区配石墓群配置図
(鹿島町教育委員会2005より)

- 墓群ごと列状に墓が配置される状況

堀部第1遺跡遺構配置図 (鹿島町教育委員会2005より)

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

- 弥生新文化を受容した墓
島根県松江市堀部第1遺跡



堀部第1遺跡西区1号墓
(鹿島町教育委員会2005より)

堀部第1遺跡東区5号墓
(鹿島町教育委員会2005より)

- 墓壇の範囲を示すように石を配置
隅や角を意識した配石 = 区画の意識

- 石や土による墓壇（内部に存在する埋葬施設）の保護

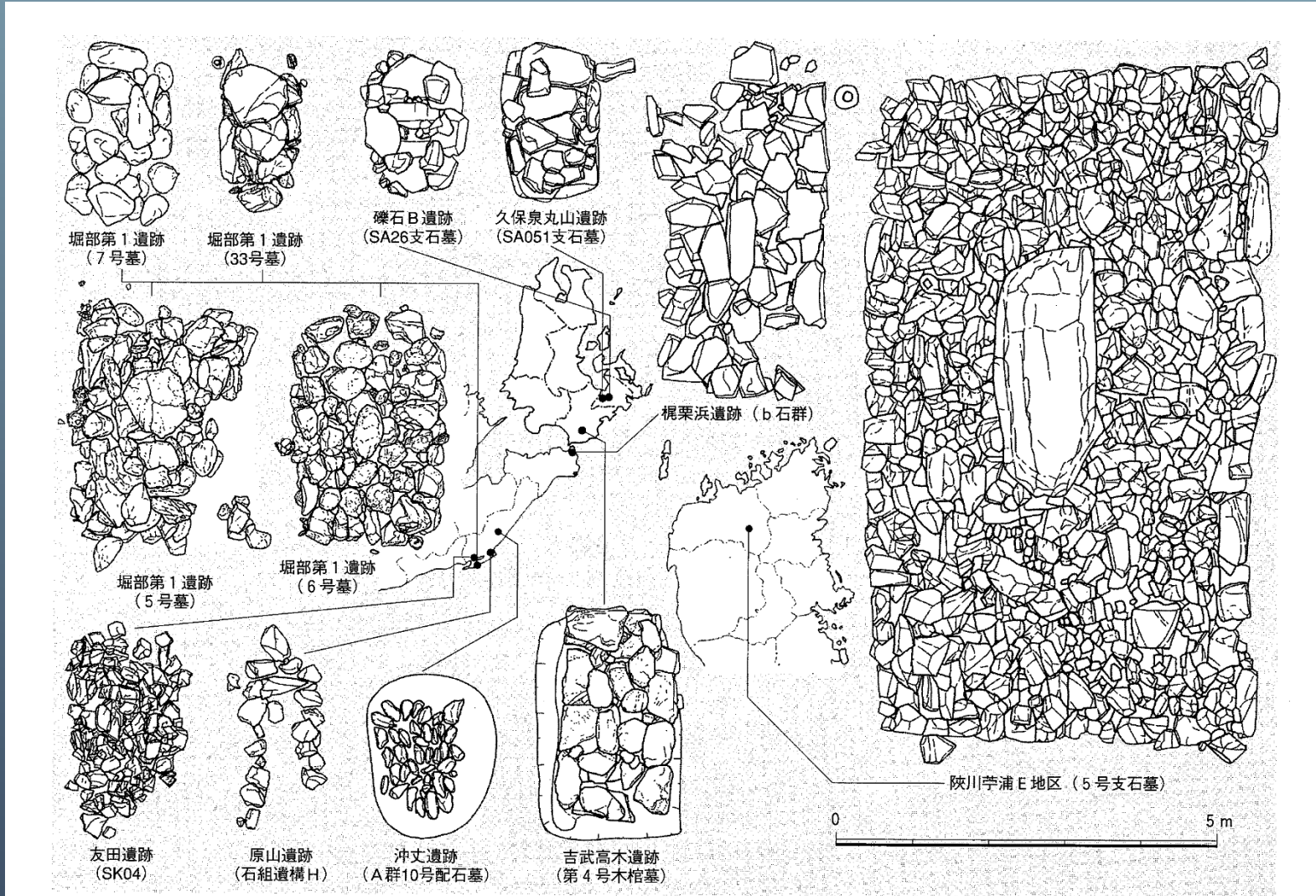
伝統的な墓制とは異なる墓制の様相を示す 弥生新墓制

堀部第1遺跡東区6号墓 (鹿島町教育委員会2005より)

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

● 弥生新墓制の伝播

環日本海での類例（朝鮮半島南部、北部九州、山陰）



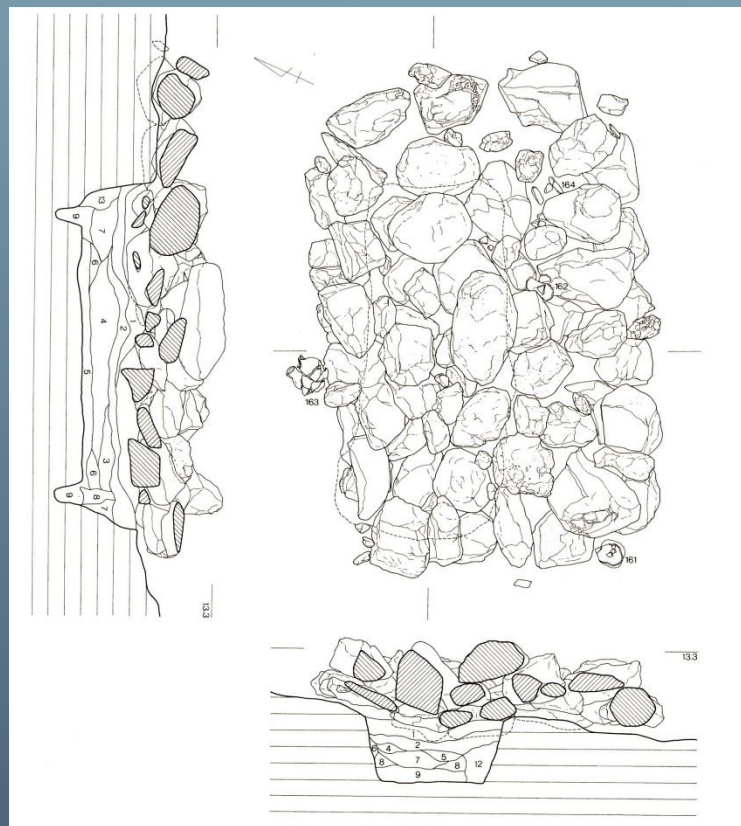
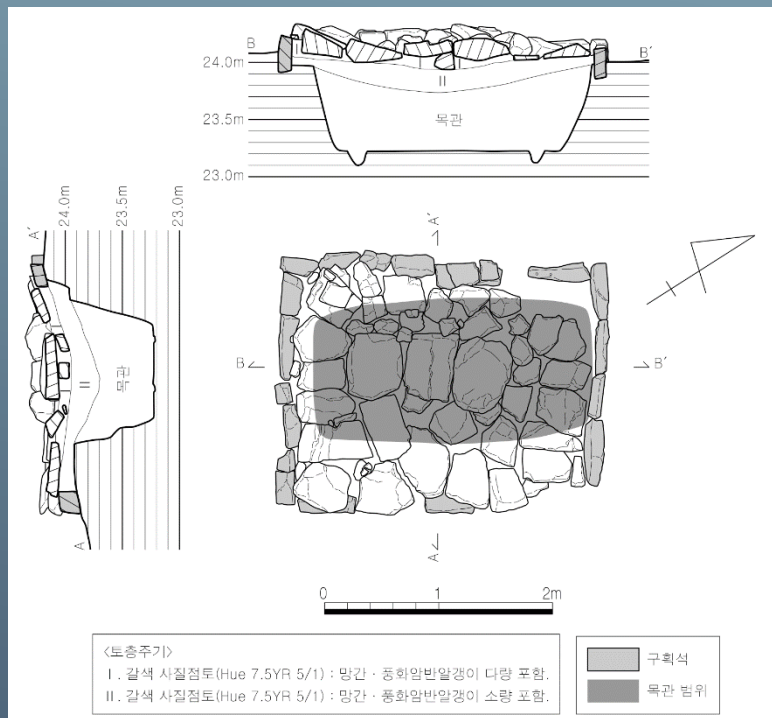
● 朝鮮半島南部に位置する慶尚南道を中心とした地域の墓制に類似することが指摘（鹿島町教育委員会2005）

● 特に、慶尚南道晋州市の虎灘洞遺跡17号区画墓は堀部第1遺跡と類似

朝鮮半島南部の支石墓と日本での支石墓・配石墓事例（鹿島町教育委員会2005より）

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

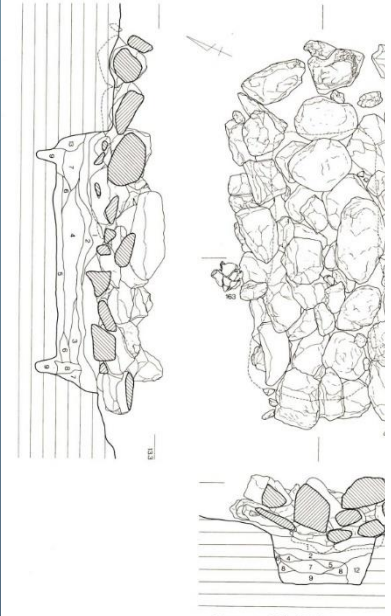
- 弥生新墓制の伝播
環日本海での類例（朝鮮半島南部、北部九州、山陰）



- 周囲へ礫による区画後、内部に礫を積みあげ墓壇（埋葬施設）を被覆（保護）

弥生時代前期の

- 弥生新墓制の受容
しまねでの受容の
堀部第1遺跡

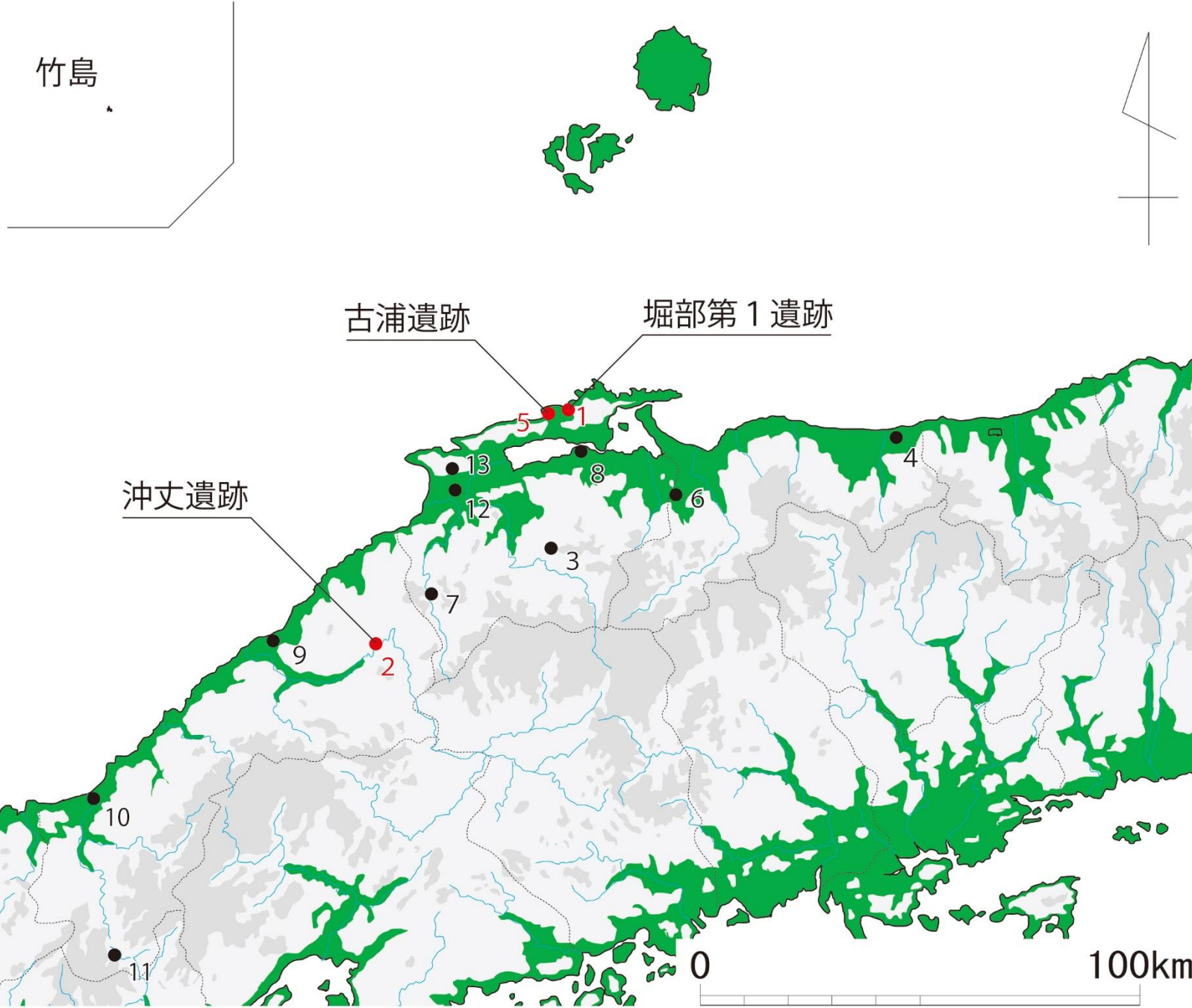


堀部第1遺跡東区
(鹿島町教育委員会2005)



堀部第1遺跡
写真

- 支石墓の系譜
- 渡来系文物に



1:堀部第1遺跡 2:沖丈遺跡 3:原田遺跡 4:長瀬高浜遺跡 5:古浦遺跡 6:境矢石遺跡 7:板屋川遺跡
8:友田遺跡 9:波来浜遺跡 10:専光寺脇遺跡 11:前立山遺跡 12:中野美保遺跡 13:青木遺跡



堀部第1遺跡出土勾玉・管玉
提供：島根県立古代出雲歴史博物館

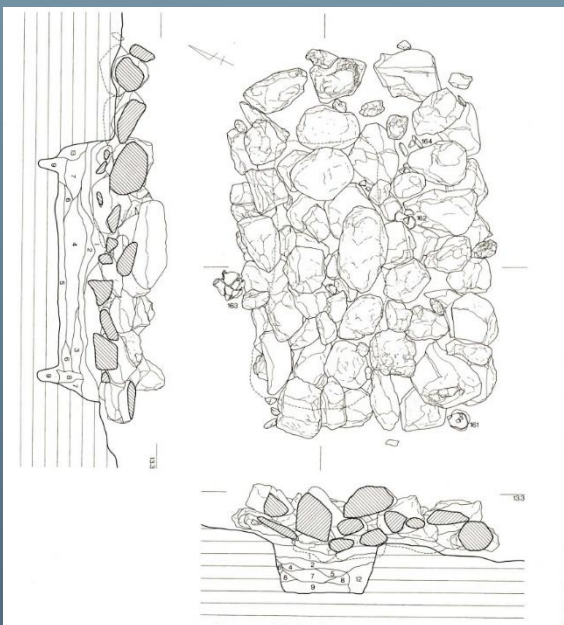
形状配置による墓群
土人骨は渡来系弥生の形質
歯状況は縄文文化の統を引く

管玉（管玉）の副葬
構造を採用
土人

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

- 弥生新墓制の受容
しまねでの受容の具体例

堀部第1遺跡



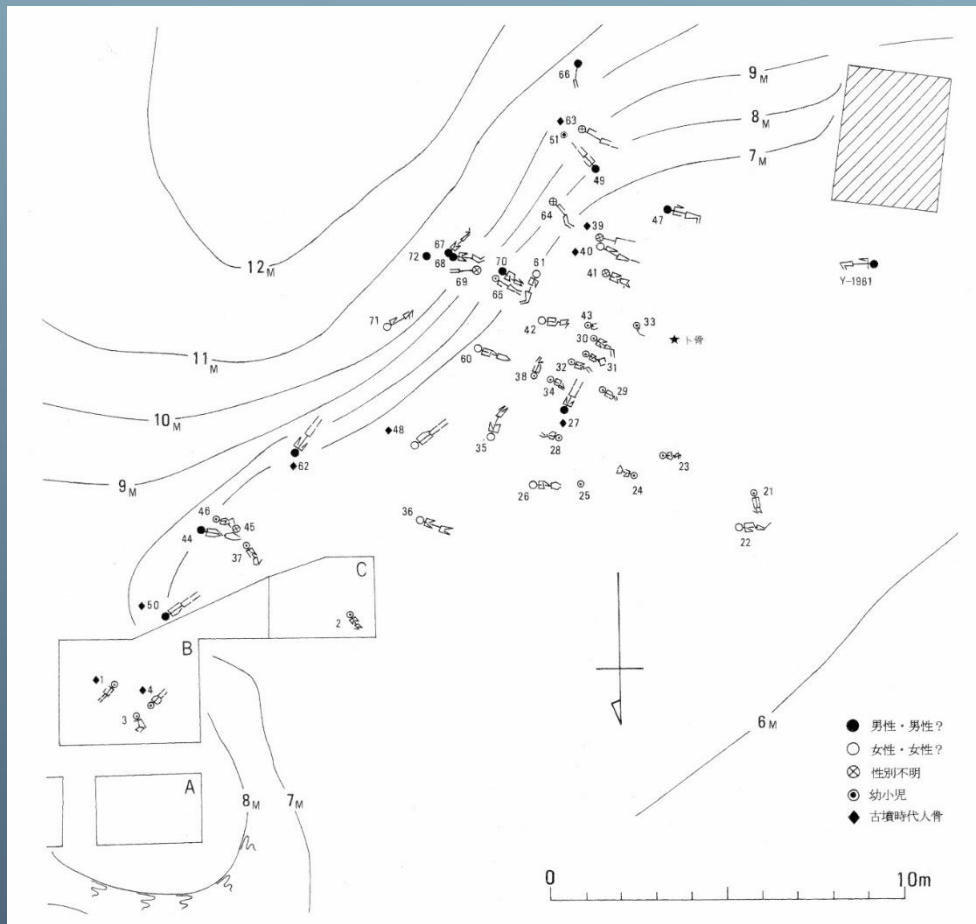
堀部第1遺跡東区5号墓
(鹿島町教育委員会2005より)



堀部第1遺跡出土管玉
写真提供：島根県立古代出雲歴史博物館

- 支石墓の系譜に連なる配石構造をもつ墓
- 渡来系文物に位置づけられる玉（管玉）の副葬

古浦遺跡



古浦遺跡弥生人骨出土地点
(藤田等・赤澤秀則編2005より)



古浦遺跡出土勾玉・管玉
写真提供：島根県立古代出雲歴史博物館

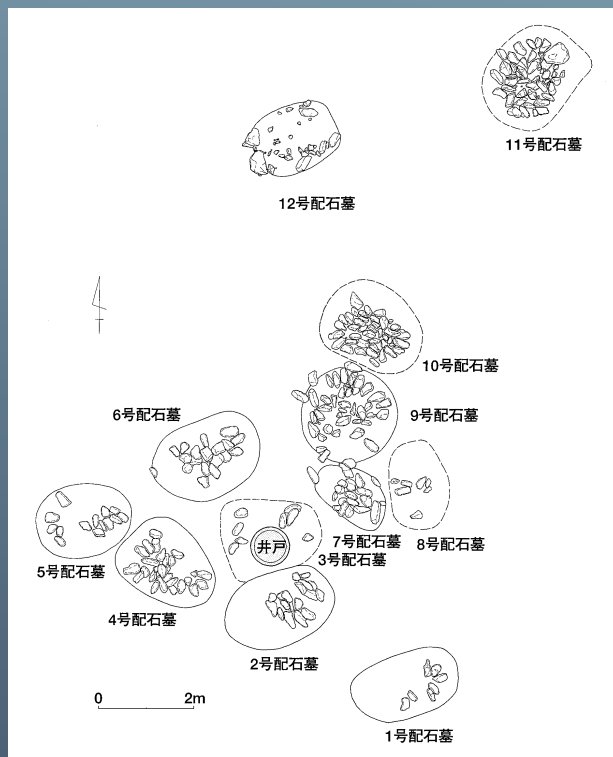
- ・ 塊状配置による墓群
- ・ 出土人骨は渡来系弥生人の形質
- ・ 抜歯状況は縄文文化の系統を引く

- 渡来系文物に位置づけられる玉（管玉）の副葬
- 墓の構造は在地の伝統的な構造を採用
- 埋葬される人は渡来系弥生人

弥生時代前期の墓制～弥生墓制の伝播と受容～

● 弥生新墓制の受容 しまねでの受容の具体例

沖丈遺跡



沖丈遺跡出土管玉

写真提供：島根県立古代出雲歴史博物館


● しまねの弥生時代前期の墓制

- 朝鮮半島から新たな墓制が伝播（弥生新墓制）
→ 縄文時代以来の在地伝統的な墓制も共存
※ 新墓制の伝播により、一斉に墓制が変化するといった排他的な様相は認められない
- 弥生新墓制が確認できる地域において、弥生新墓制を積極的に採用する墓地と在来的墓制を残す墓地の両者が存在。在来的墓制を保持する墓地であっても、渡来系文物である玉（管玉）の副葬
→ 在来的墓制を踏襲しながら、弥生新墓制を内在
※ 伝播した弥生新墓制（渡来系文化）を各地域・集団が選択的に受容した様子が反映

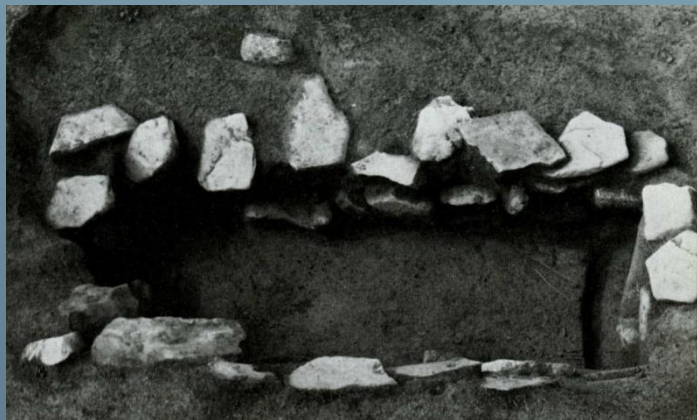
しまねの各地の弥生前期の墓は
各地域集団の渡来系文化（弥生新文化）の受容の様相を示す

沖丈遺跡配石墓A群（美郷町教育委員会2001より）

- 縄文時代以来の在地伝統的な墓制
- 渡来系文物に位置づけられる玉（管玉）の副葬

- I はじめに 本講座の目的
 - II 弥生時代前期の墓制 ～弥生墓制の伝播と受容～
 - III 弥生時代中期の墓制 ～墳丘墓の出現過程～
 - IV 弥生時代後期の墓制 ～墳丘墓の変容と大型墳丘墓の出現～
 - V 墓制の発達とその背景
- 

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の 弥生新墓制の変容（中期前半）

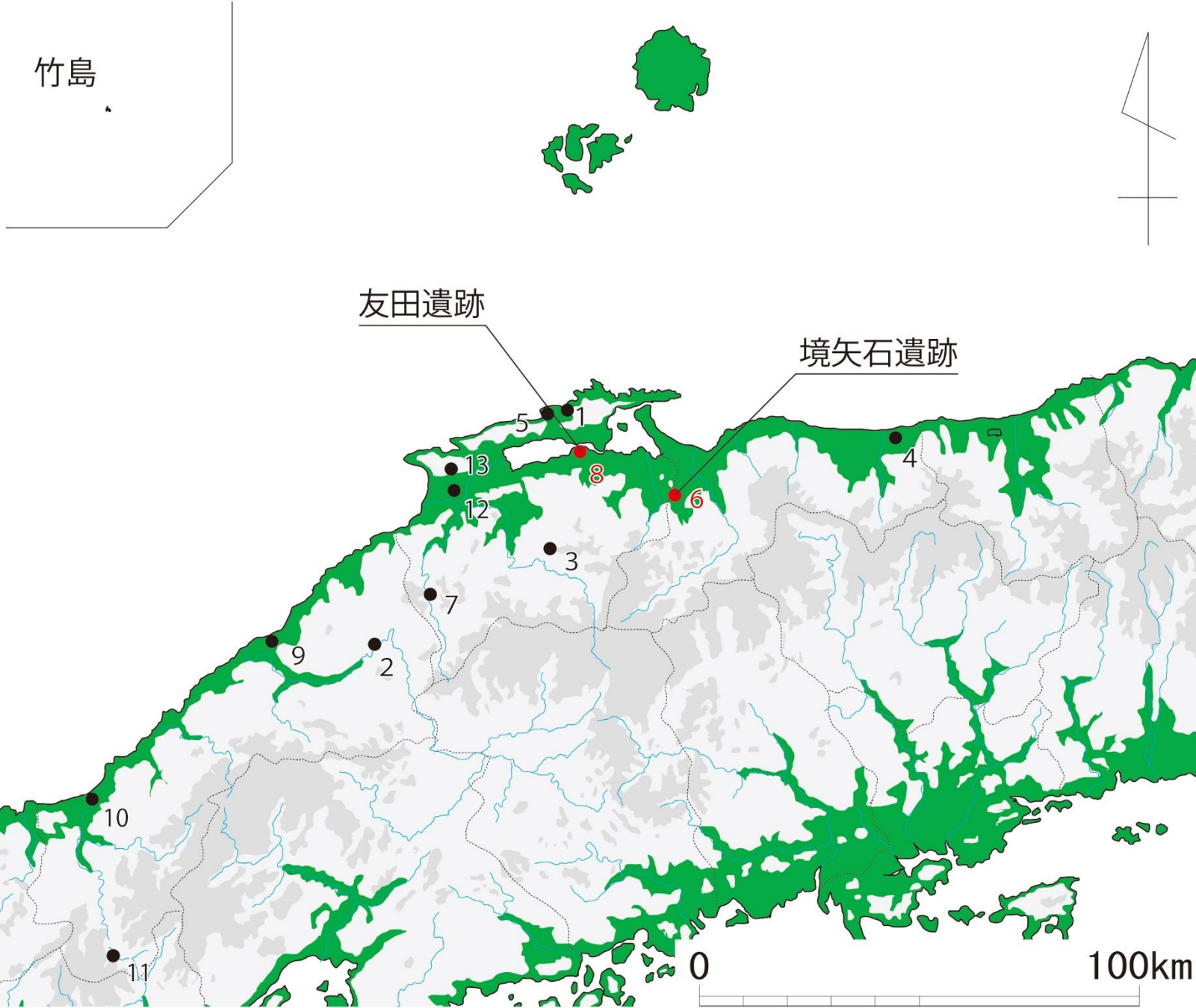


友田遺跡（島根県松江市）

上：A区4号墓

下：A区5号墓

写真提供：松江市



- 1:堀部第1遺跡 2:沖丈遺跡 3:原田遺跡 4:長瀬高浜遺跡 5:古浦遺跡 6:境矢石遺跡 7:板屋川遺跡
8:友田遺跡 9:波来浜遺跡 10:専光寺脇遺跡 11:前立山遺跡 12:中野美保遺跡 13:青木遺跡

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

弥生新墓制の変容（中期前半）

弥生時代前期に伝播した弥生新墓制が変容

墓壇の範囲表示や保護のために施された配石構造が変化

- ・ 形骸化
- 配石構造が変容（形骸化）した墓
島根県松江市友田遺跡



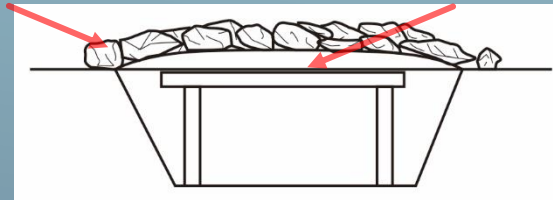
変容した配石構造を有する墓（配石墓）

友田遺跡（島根県松江市）

写真提供：松江市

標石

小規模な土饅頭



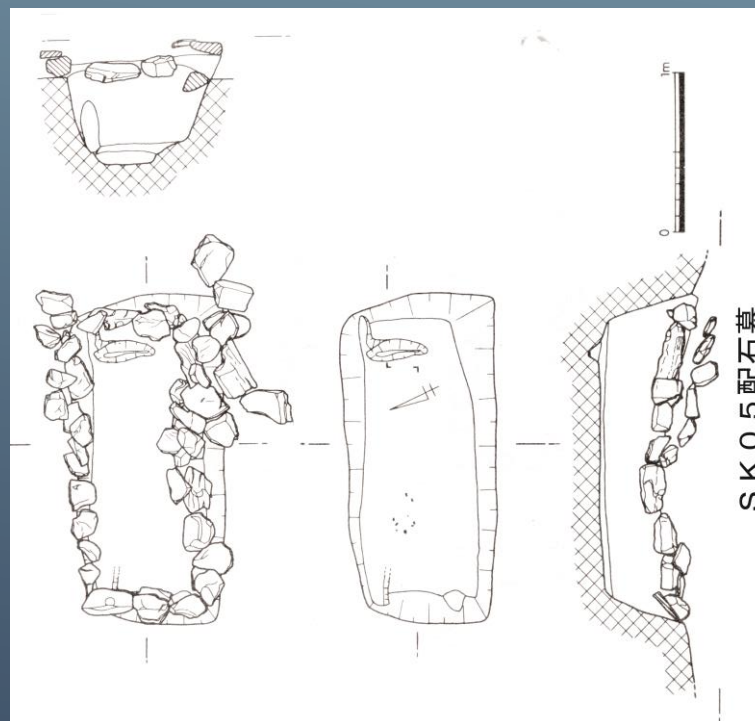
標石

土饅頭



- 全面的に被覆していた配石が墓壇周囲のみ（範囲表示）

- 配石が担っていた保護・被覆の機能を土（土饅頭）で代替される



SK 05 配石墓



友田8号墓出土管玉・勾玉

友田遺跡A区j（島根県松江市）

写真提供：島根県立古代出雲歴史博物館

変容した配石構造を有する墓（配石墓）

友田遺跡（島根県松江市）

（松江市教育委員会1983より）

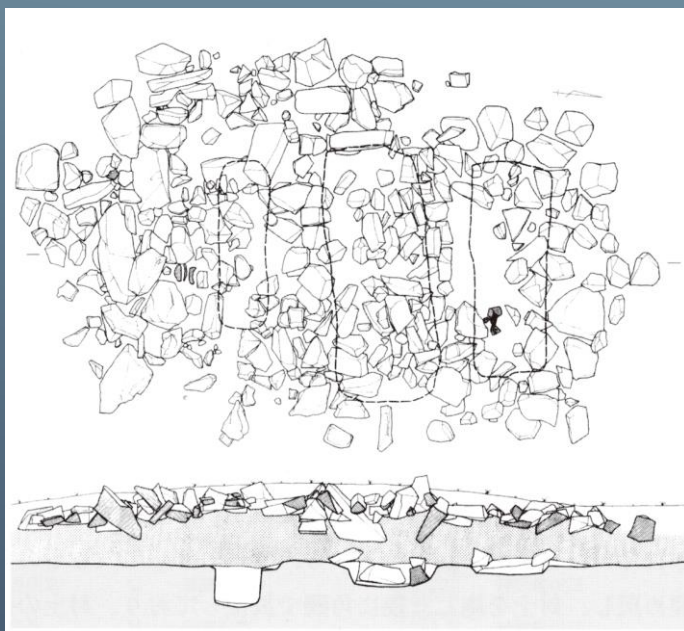
弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

弥生新墓制の変容（中期前半）

弥生時代前期に伝播した弥生新墓制が変容

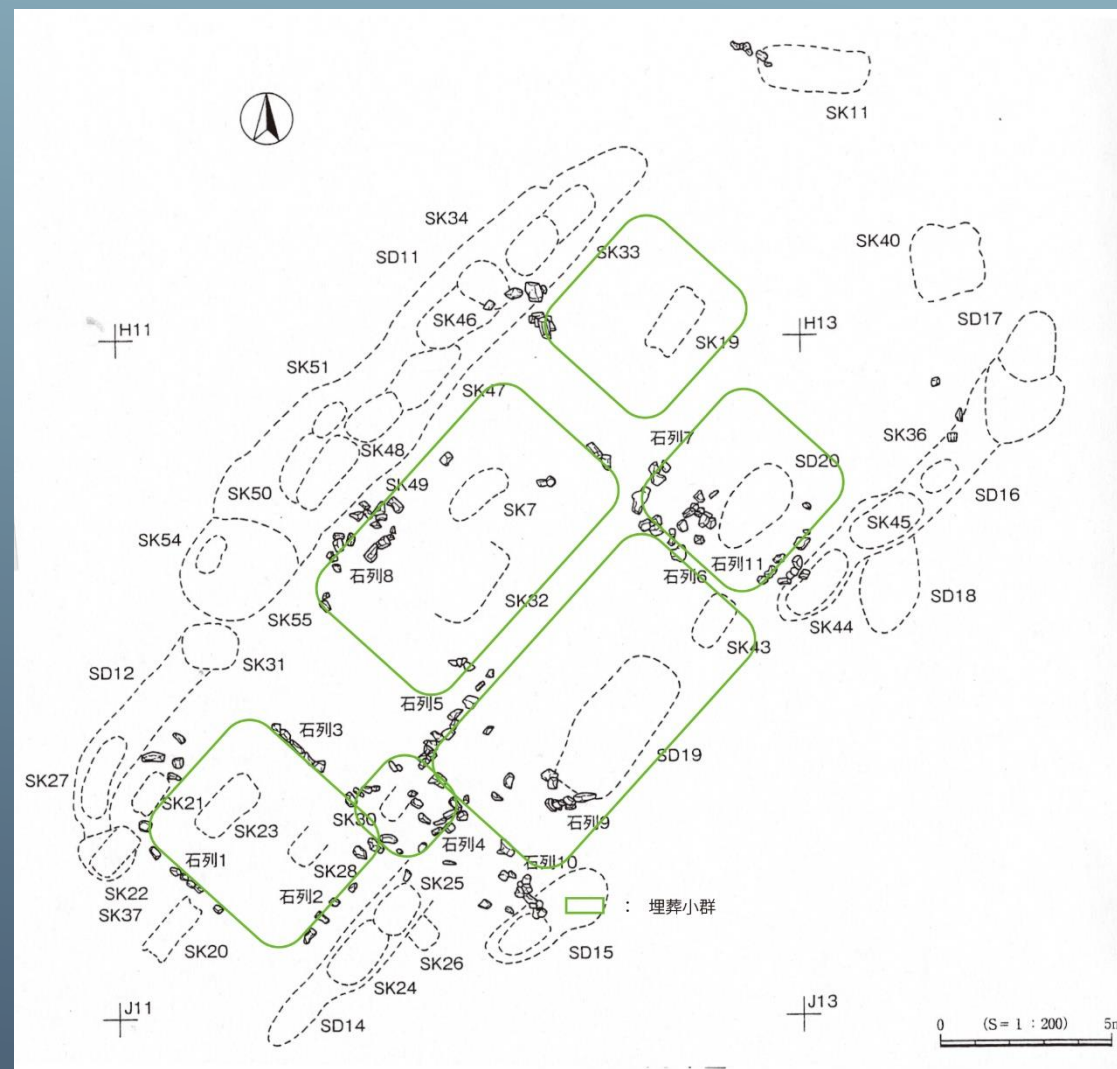
墓墳の範囲表示や保護のために施された配石構造が変化

- ・ 形骸化
- ・ 配石範囲の拡大
- 墓ごとに施されていた配石が範囲を拡張し、墓群に対して配石を施す（範囲の拡大）

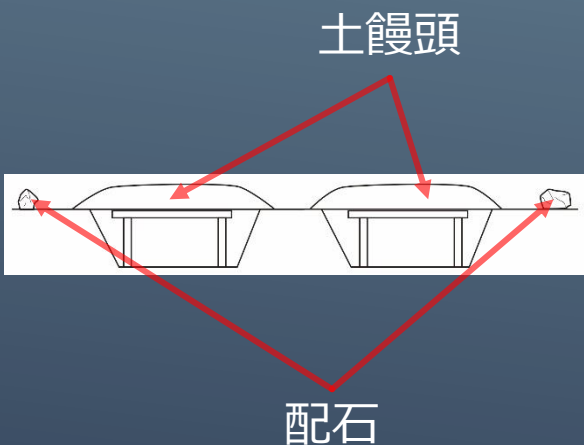


変容した配石構造を有する墓（群）
中国山間部事例
高平 A 号墓（広島県三次市）
（野島2018より）

- 配石構造が変容（範囲拡大）した墓（群）
鳥取県境矢石遺跡



変容した配石構造を有する墓（群）
境矢石遺跡（鳥取県米子市）
（一般財団法人米子市文化財団2015より一部改変）



土饅頭

配石

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

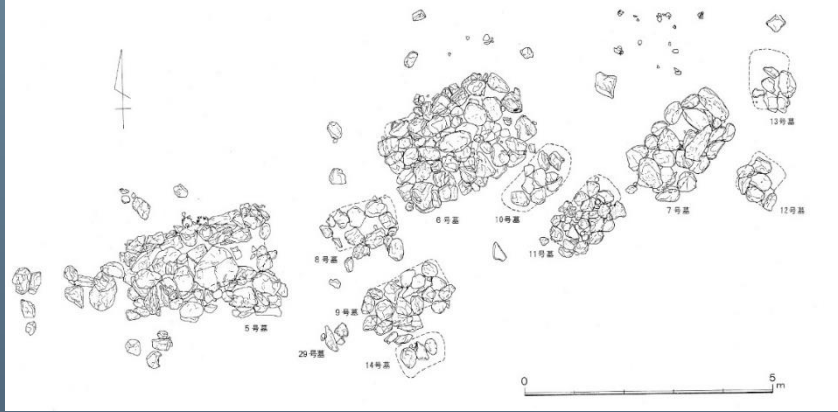
・形骸化

弥生新墓制の変容（中期前半）

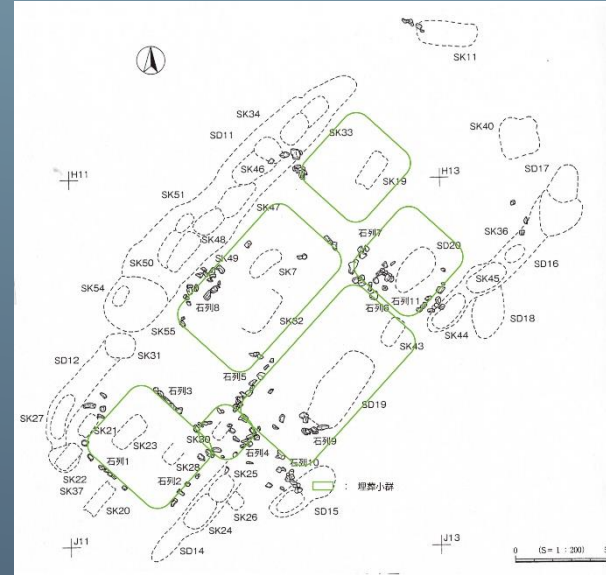
弥生時代前期に伝播した弥生新墓制が変容

墓壇の範囲表示や保護のために施された配石構造が変化

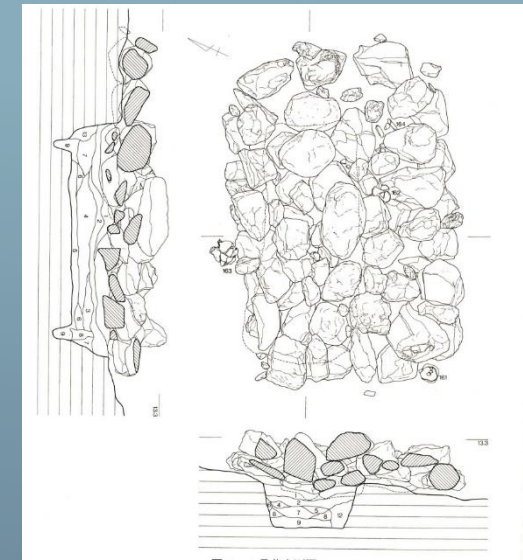
・配石範囲の拡大



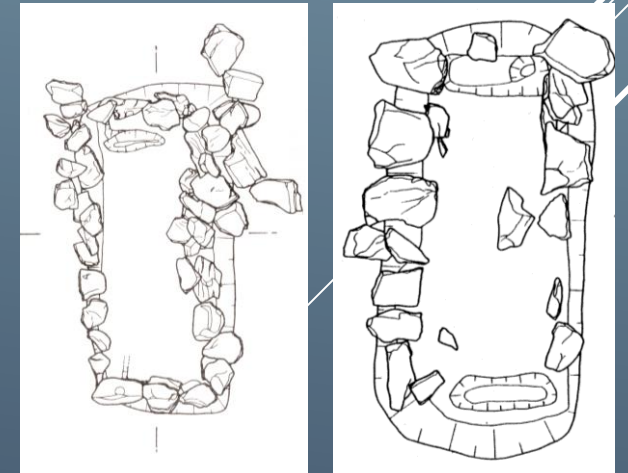
墓ごとの配石（配石墓）
堀部第1遺跡東区（島根県松江市）
（鹿島町教育委員会2005より）



墓群への配石
境矢石遺跡（鳥取県米子市）
（一般財団法人米子市文化財団2015より一部改変）



墓壇上部を全面的に被覆する墓
堀部第1遺跡東区5号墓
（鹿島町教育委員会2005より）



墓壇周囲のみへ配石を施す墓
友田遺跡（島根県松江市）
（松江市教育委員会1983より）

● 弥生新墓制として山陰に伝播した配石墓が地域的な発達を遂げる。

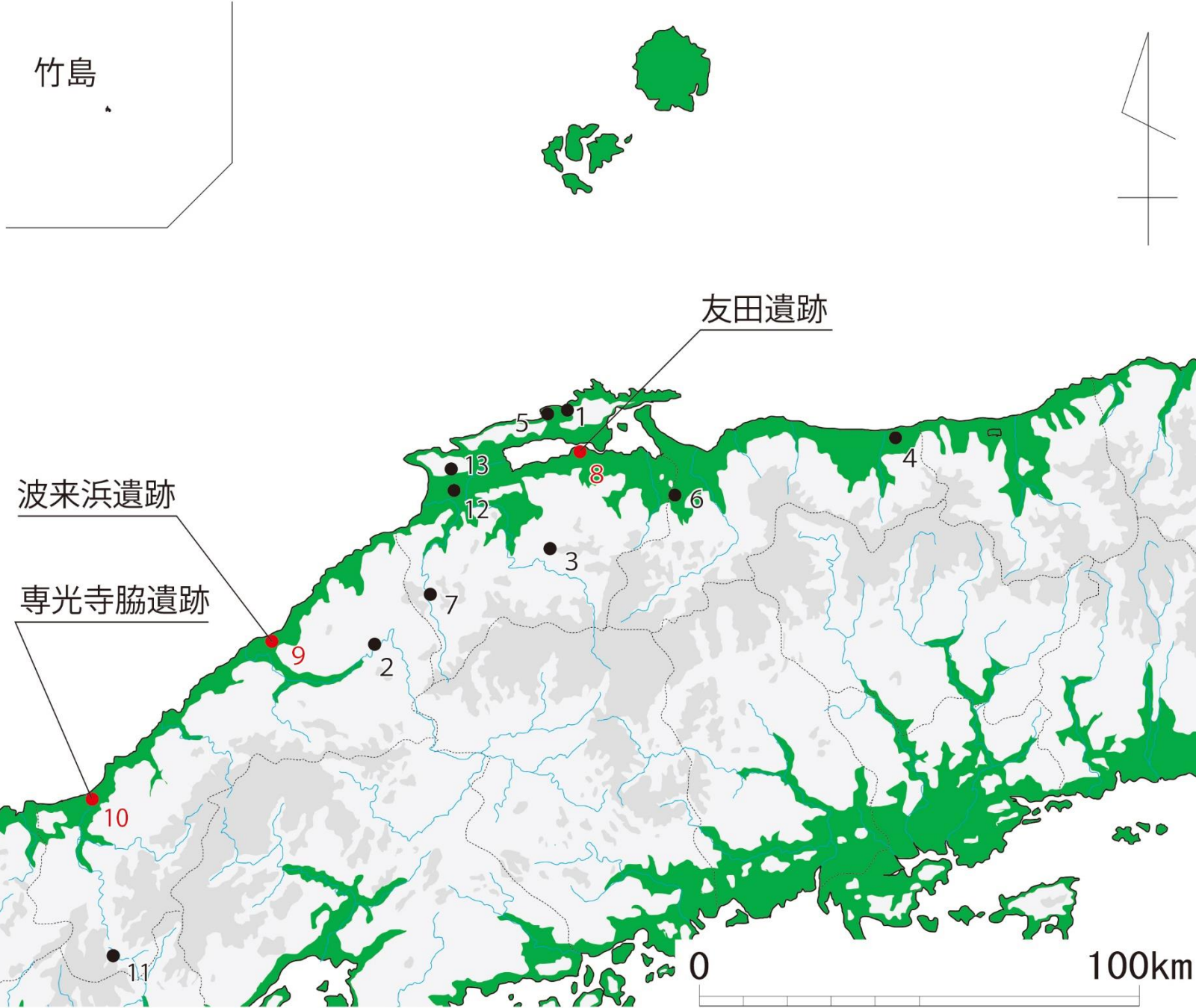
弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現

墳丘墓の出現（中期後半）



波来浜遺跡 A 調査区（島根県江津市）

写真提供：江津市教育委員会



- 1:堀部第1遺跡 2:沖丈遺跡 3:原田遺跡 4:長瀬高浜遺跡 5:古浦遺跡 6:境矢石遺跡 7:板屋川遺跡
 8:友田遺跡 9:波来浜遺跡 10:専光寺脇遺跡 11:前立山遺跡 12:中野美保遺跡 13:青木遺跡

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

墳丘墓の出現（中期後半）

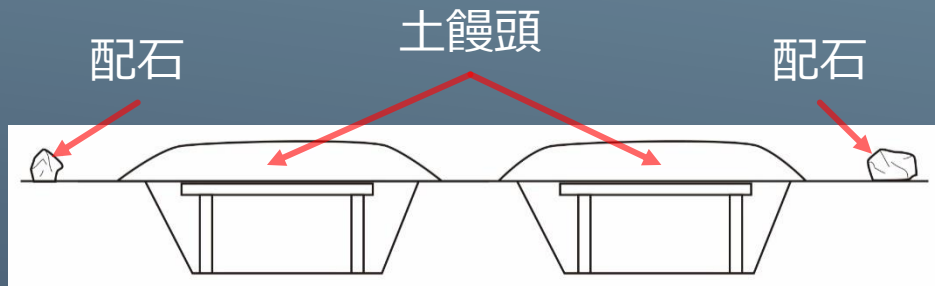
変容した弥生新墓制が発達

墓群の範囲表示が発達し、墳丘墓（方形貼石墓）へ

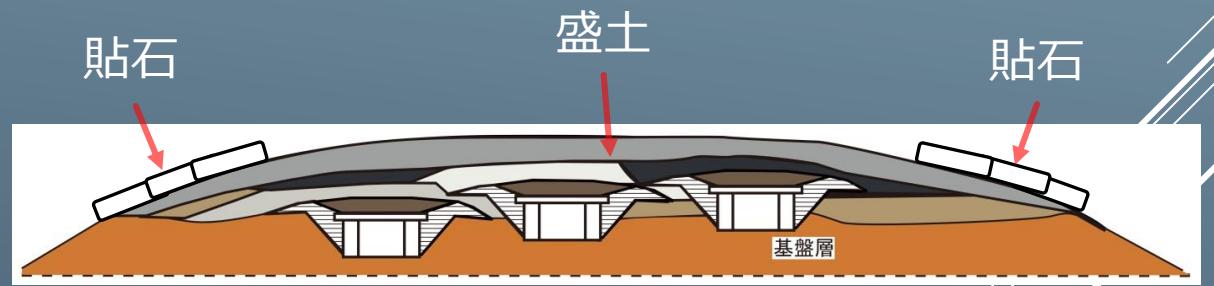
- ・ 配石 → 貼石
- ・ 土饅頭 → 盛土



山陰最古級の墳丘墓（方形貼石墓）
波来浜遺跡（島根県江津市） 写真提供：江津市教育委員会



弥生時代中期前半



弥生時代中期後半

- 墓の上部に施されていた土饅頭が墓群全体を被覆・強調する機能を有する「盛土」へと発達
- 盛土の出現に伴い、盛土斜面上に施される配石が「貼石」へと変容

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

墳丘墓の出現（中期後半）

出現期の墳丘墓

島根県江津市波来浜遺跡（ならはまいせき）



波来浜遺跡 A 調査区 2 号墓（方形貼石墓）

弥生時代中期中葉：紀元前 2 世紀頃

波来浜遺跡（島根県江津市） 写真提供：江津市教育委員会

● 墓を列状に配置 弥生前期から続く墓制を踏襲

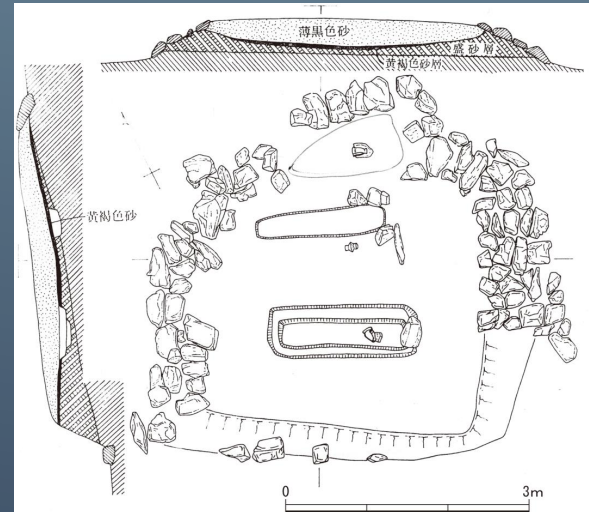
● 盛土と配石（貼石）による墓群の強調



列状に配置される墓

波来浜遺跡 A 調査区（島根県江津市）

（江津市教育委員会2012より）



A 調査区 2 号墓

弥生時代中期中葉

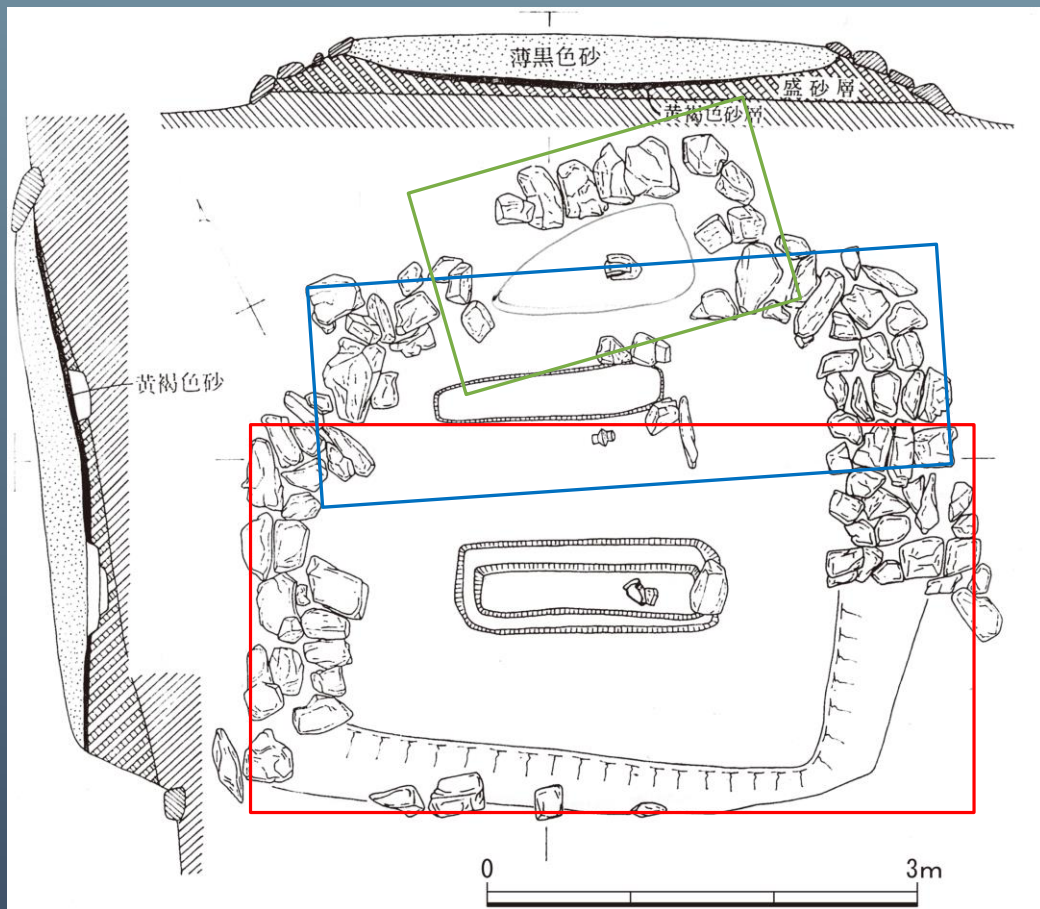
（島根県江津市1973より）

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

墳丘墓の出現（中期後半）

出現期の墳丘墓

島根県江津市波来浜遺跡（ならはまいせき）



波来浜遺跡 A 調査区 2 号墓（方形貼石墓）

弥生時代中期中葉：紀元前 2 世紀頃

波来浜遺跡（島根県江津市） 写真提供：江津市教育委員会

- 埋葬毎に盛土と貼石を施しており、最終的な墳丘墓の形はいびつ
- 弥生時代中期前半の形骸化した配石墓がまとまった状況を示す
- 埋葬と墳丘墓の構築が同時に進行

A 調査区 2 号墓

弥生時代中期中葉

（島根県江津市1973より）

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

墳丘墓の出現（中期後半）

出現期の墳丘墓

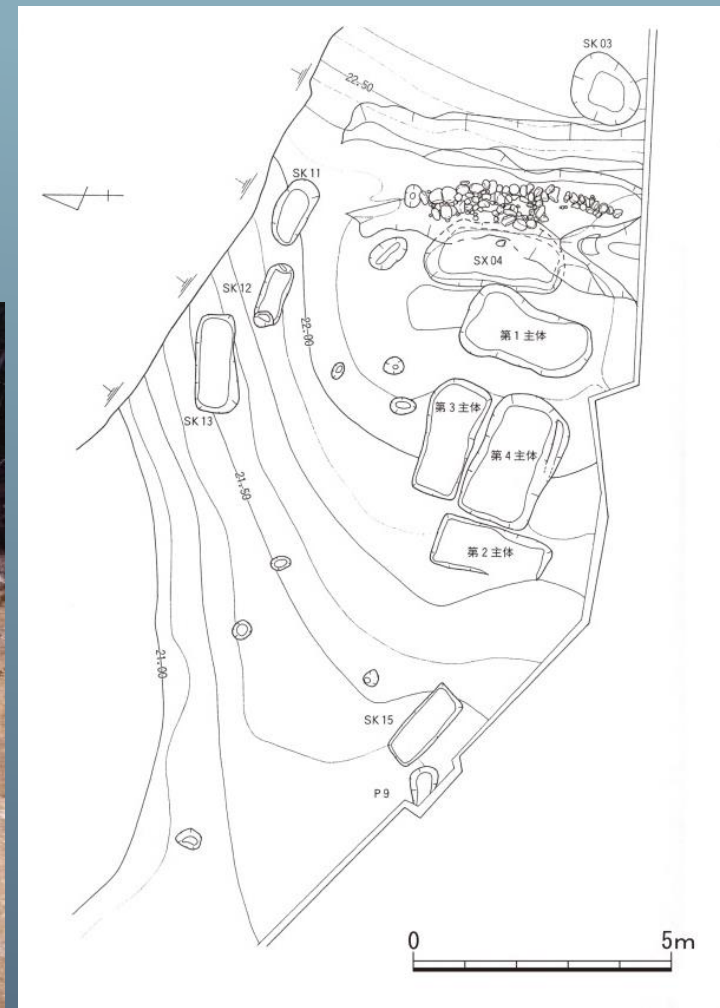
島根県益田市専光寺脇遺跡（せんこうじわきいせき）



専光寺脇遺跡 1号墓（方形貼石墓）
弥生時代中期後半
専光寺脇遺跡（島根県益田市）



専光寺脇遺跡 2号墓（方形貼石墓）
弥生時代中期後半
専光寺脇遺跡（島根県益田市）

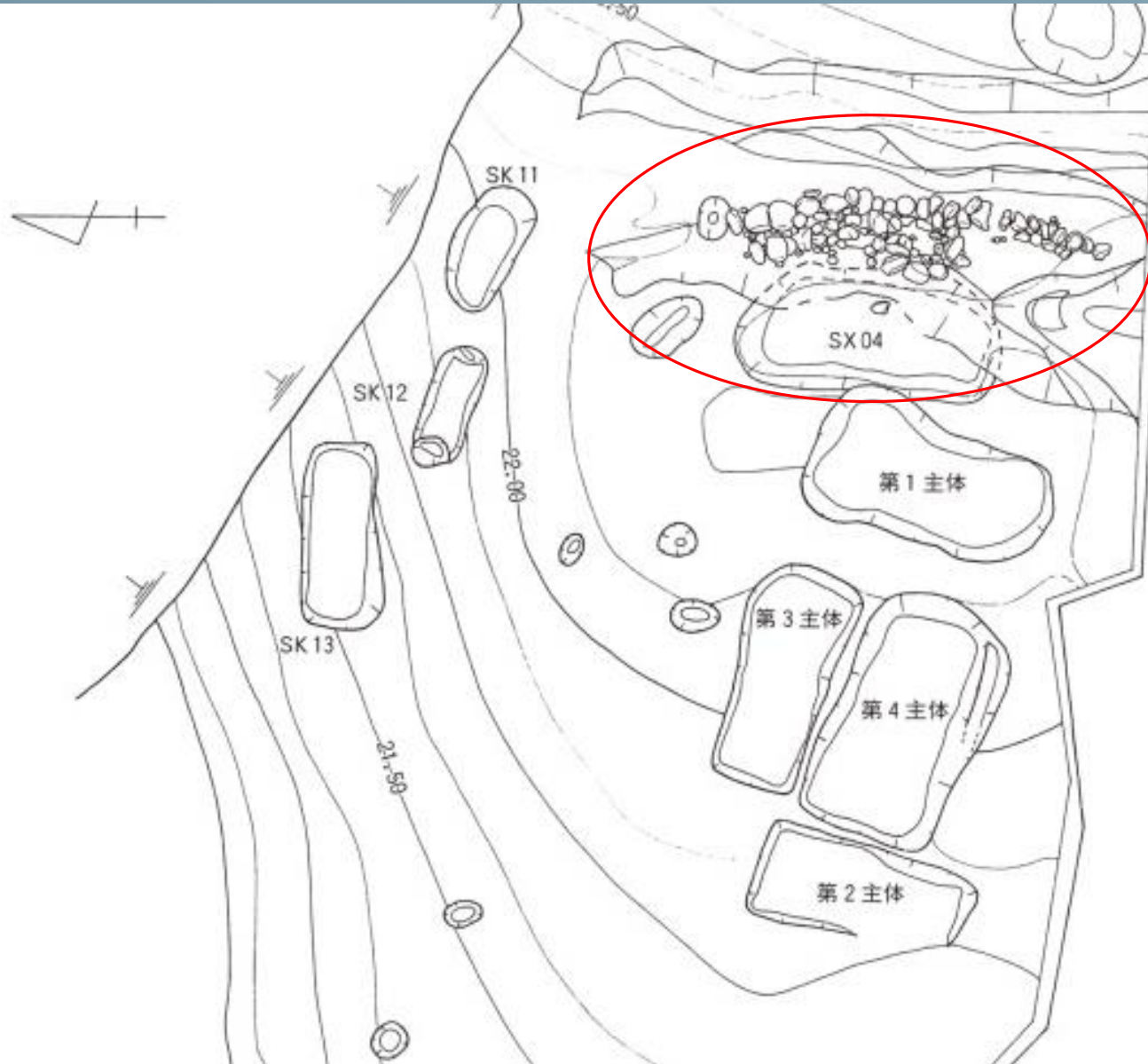


専光寺脇遺跡 2号墓
弥生時代中期後半
（島根県教育委員会2008より）

- 墓を列状に配置 弥生前期から続く墓制を踏襲
- 盛土と配石（貼石）による墓群の強調

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

墳丘墓の出現（中期後半）



- 墓 (SX04) に重複するように貼石が施される

埋葬 → 貼石

- 墳丘墓の完成以前に埋葬が行われる

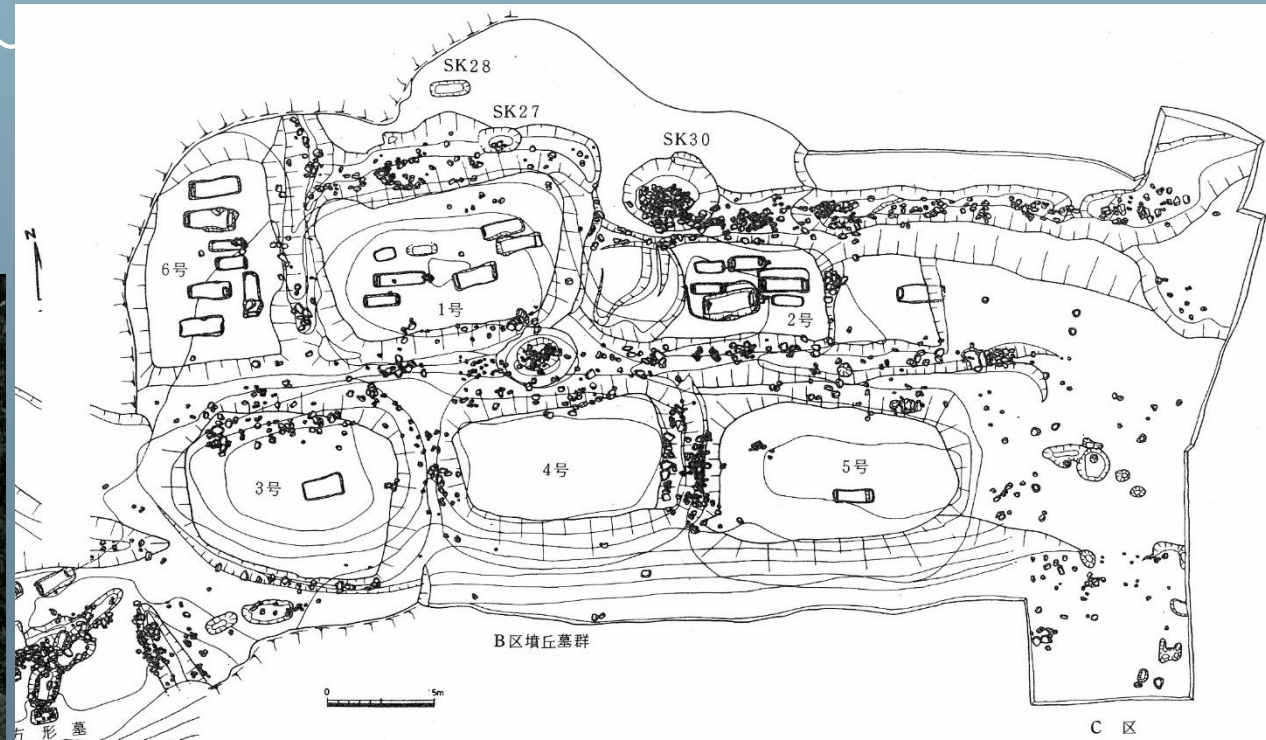
専光寺脇遺跡 2号墓
弥生時代中期後半
(島根県教育委員会2008より)

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

墳丘墓の出現（中期後半）

出現期の墳丘墓

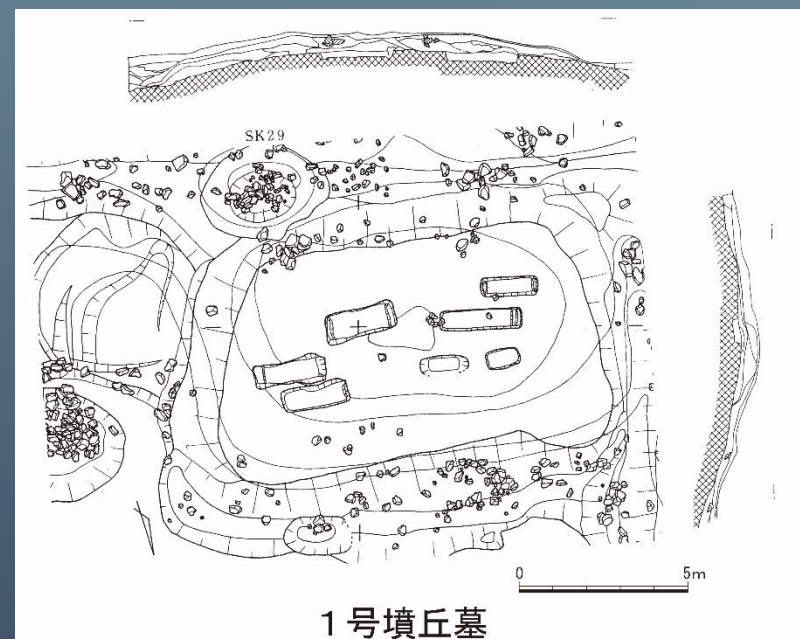
島根県松江市友田遺跡
弥生時代中期後半



友田遺跡墳丘墓（方形貼石墓）
弥生時代中期後半
写真提供：松江市



友田遺跡 1号墳丘墓
弥生時代中期後半
写真提供：松江市



上：友田遺跡遺構配置
左：友田遺跡 1号墳丘墓
弥生時代中期後半
(松江市教育委員会1983より)

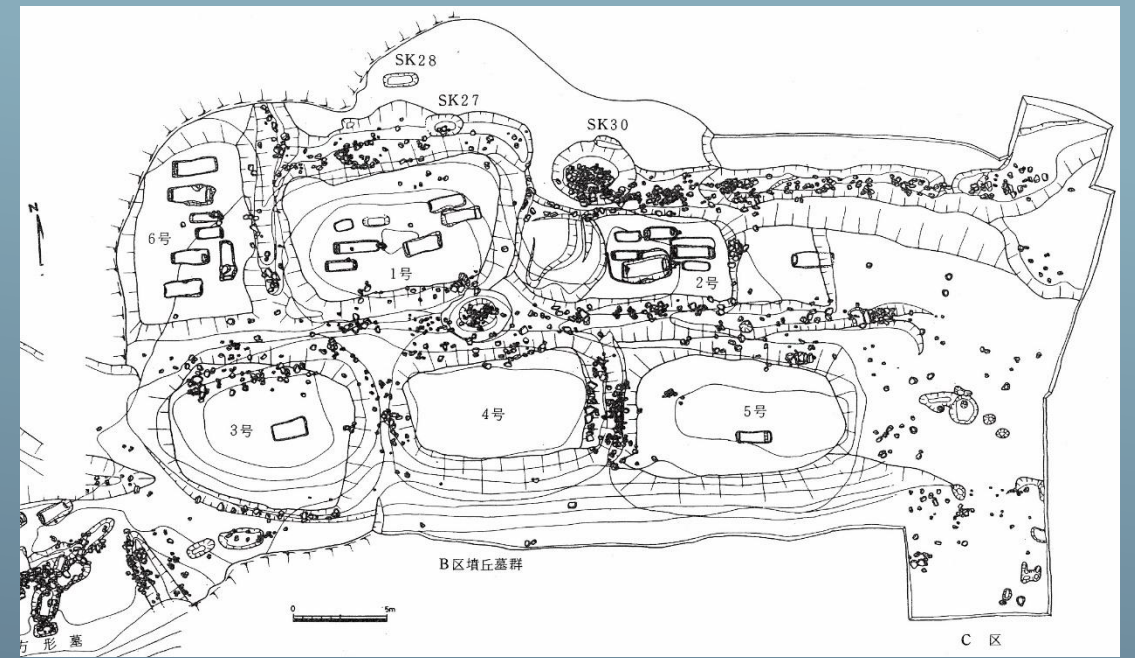
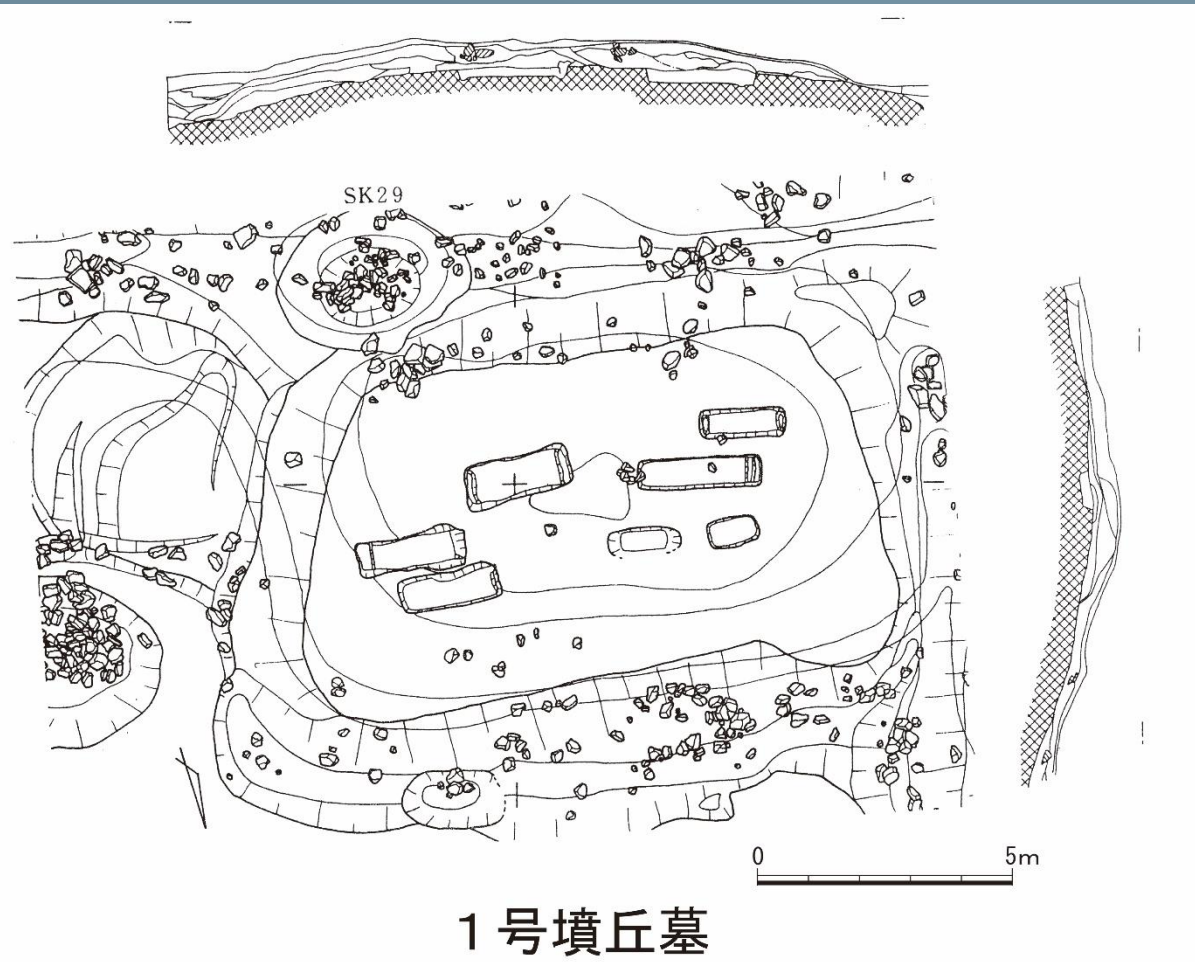
弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

墳丘墓の出現（中期後半）

出現期の墳丘墓

島根県松江市友田遺跡

弥生時代中期後半



友田遺跡遺構配置（松江市教育委員会1983より）

友田遺跡 1号墳丘墓

弥生時代中期後半

（松江市教育委員会1983より）

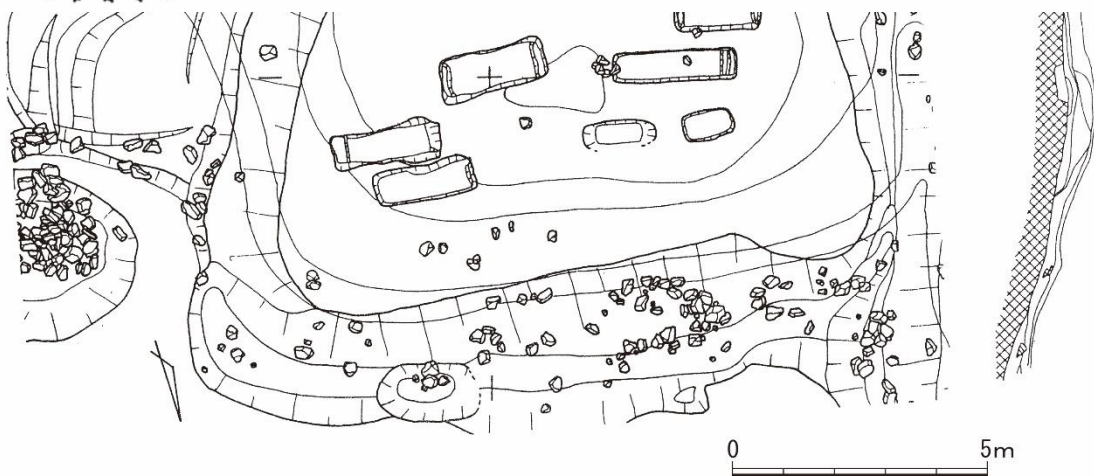
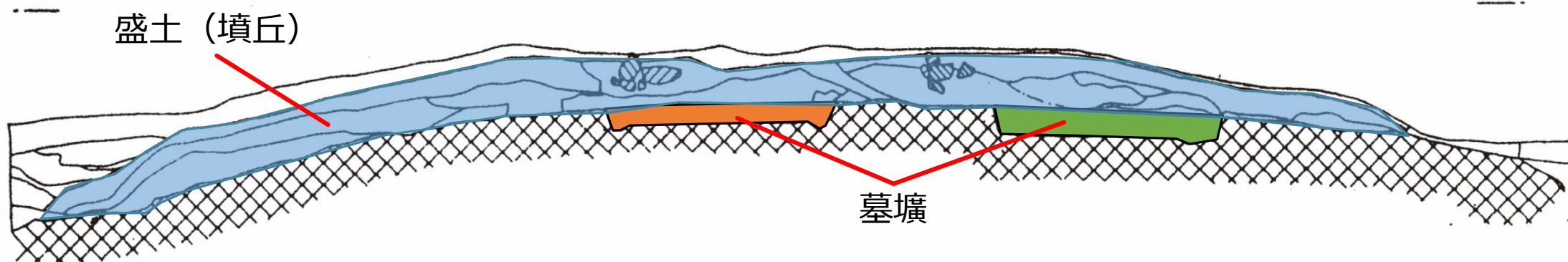
弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

墳丘墓の出現（中期後半）

出現期の墳丘墓

島根県松江市友田遺跡

弥生時代中期後半



1号墳丘墓

- 墓を列状に配置 弥生前期から続く墓制を踏襲
- 埋葬後に盛土と貼石を施す
最終的な墳丘墓の形は比較的ととのった方形～長方形
- 埋葬終了後に墳丘墓の構築を行う

友田遺跡 1号墳丘墓

弥生時代中期後半

(松江市教育委員会1983より)

弥生時代中期の墓制～墳丘墓の出現過程～

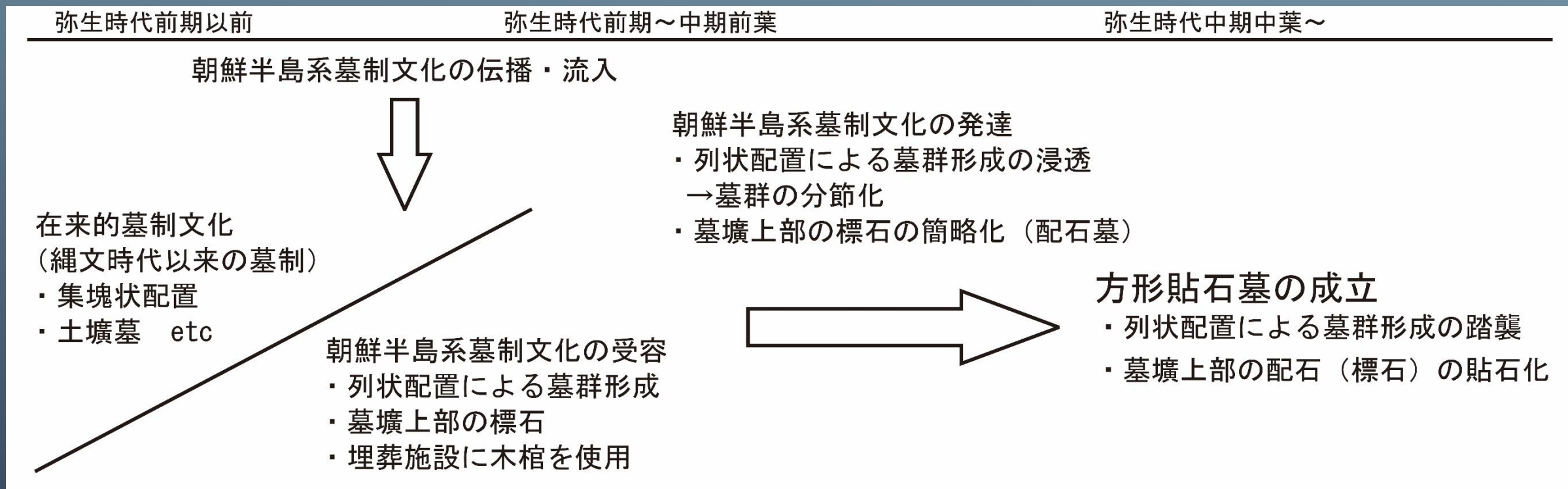
墳丘墓の出現（中期後半）


出現期の墳丘墓

- 弥生時代中期中葉以降に墳丘墓が出現
- 弥生前期に伝播した半島系墓制（弥生新墓制）を系譜とする配石墓が発達（形骸化）し貼石へ
- 各墓壙の上部の土饅頭が特定の被葬者のまとまりを強調（一体化）するために盛土化

埋葬 → 墳丘墓構築

副葬品は基本的にはなく、土器は墓壙上部に数点か
墳丘周辺の溝から出土
※墳丘上での祭祀は確認できない

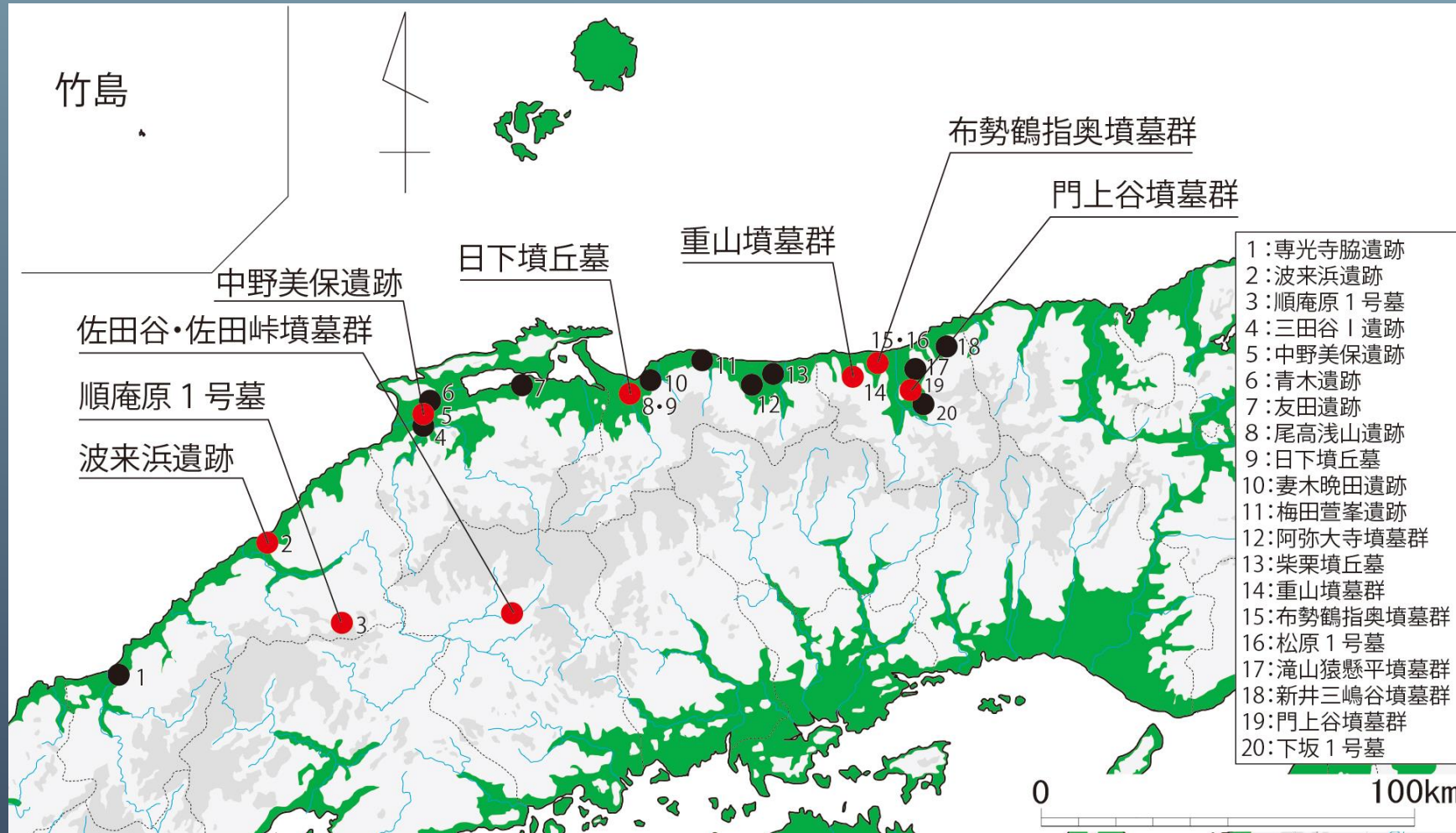


- I はじめに 本講座の目的
 - II 弥生時代前期の墓制 ～弥生墓制の伝播と受容～
 - III 弥生時代中期の墓制 ～墳丘墓の出現過程～
 - IV 弥生時代後期の墓制 ～墳丘墓の変容と大型墳丘墓の出現～
 - V 墓制の発達とその背景
- 

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓



墳丘全景（西から）

順庵原1号墓（四隅突出型墳丘墓）
島根県邑智郡邑南町・弥生時代後期中葉
（紀元後1～2世紀）

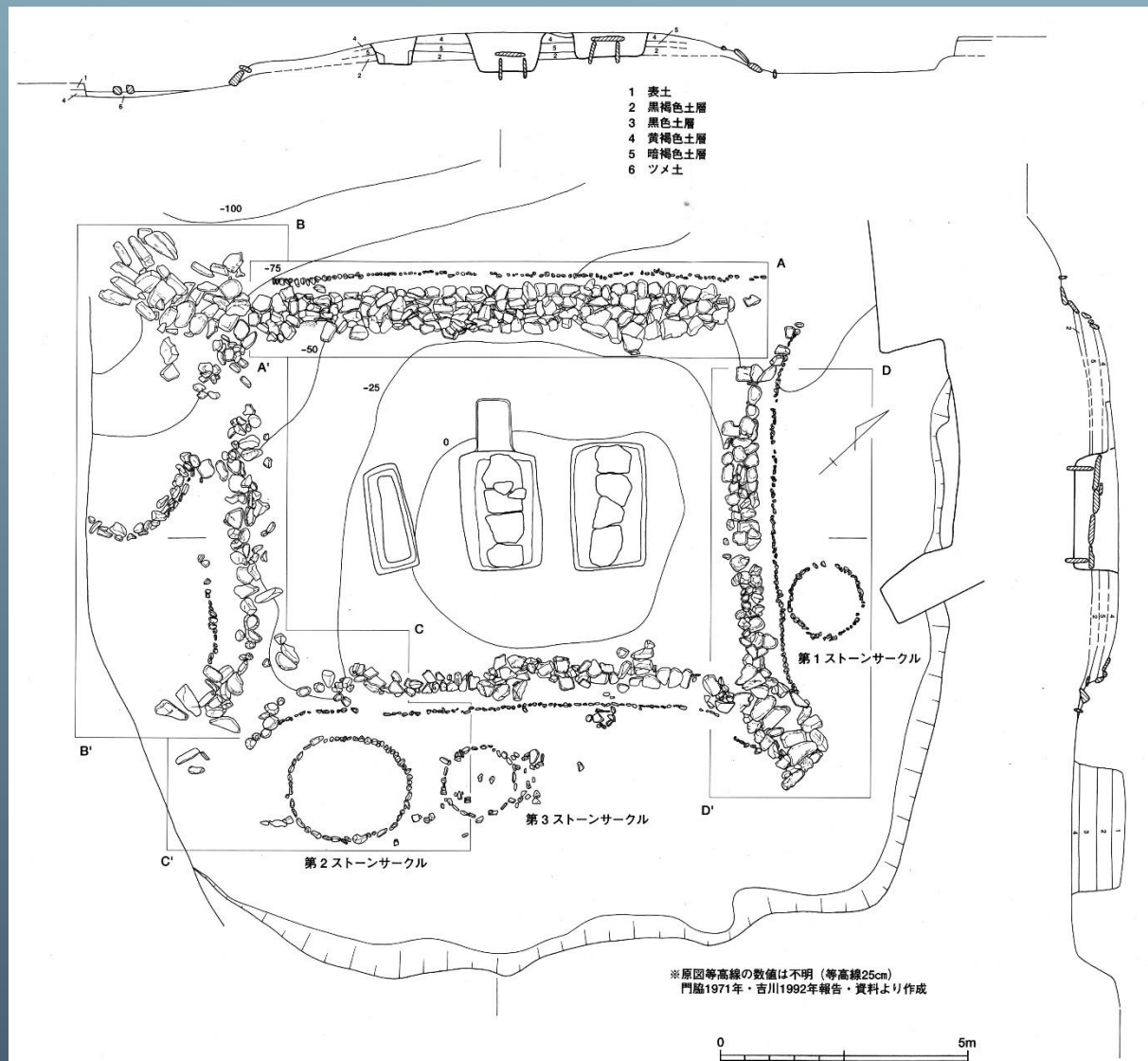
弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓



順庵原 1 号墓（四隅突出型墳丘墓）
島根県邑智郡邑南町・弥生時代後期中葉（紀元後 1～2 世紀）

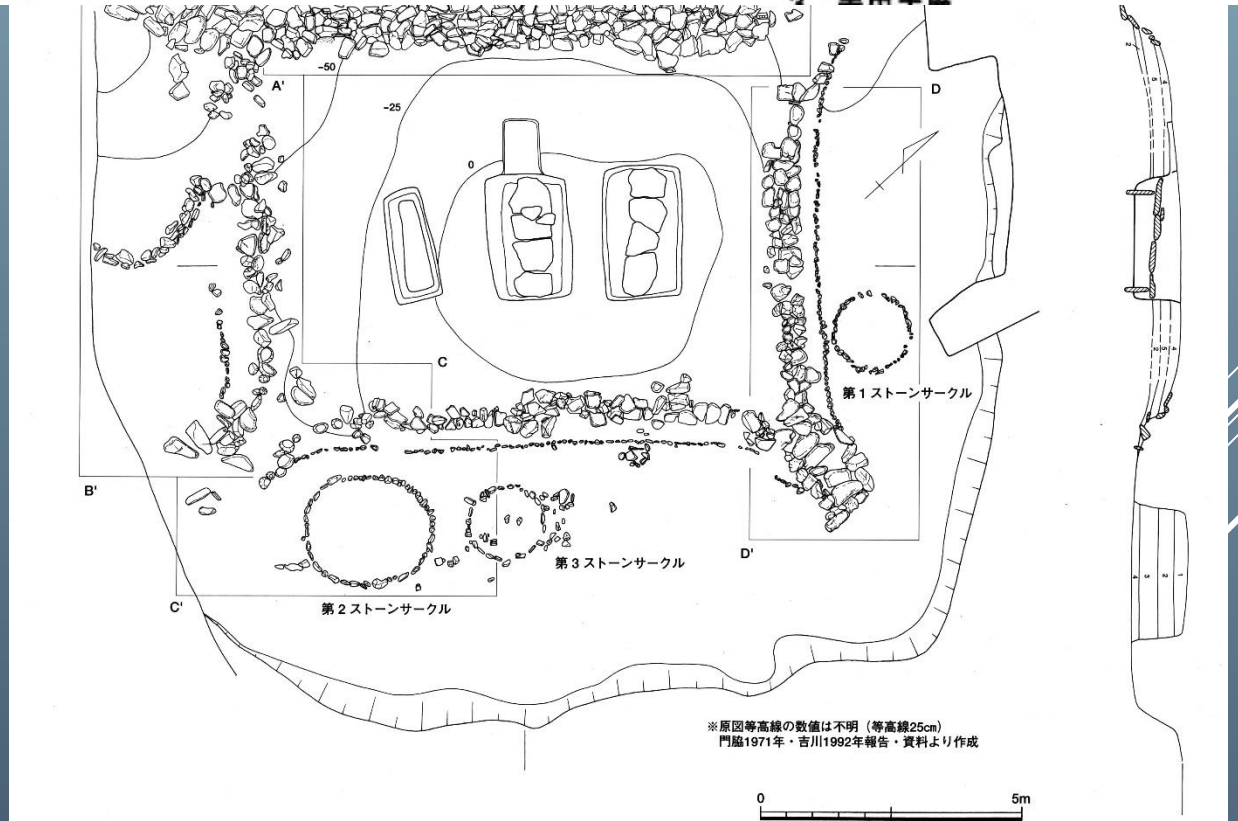
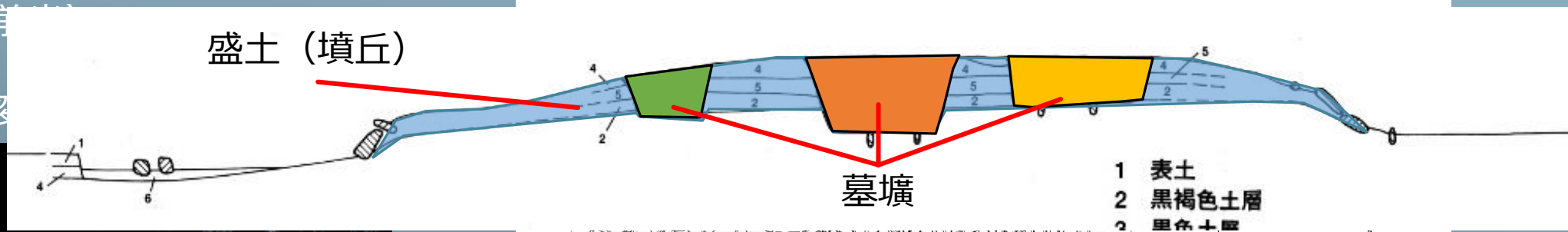


順庵原 1 号墓
弥生時代後期中葉
（島根県古代文化センター・島根県埋蔵文化財調査センター 2007 より）

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期中葉）

墳丘墓の構築方法の変遷



順庵原1号墓（四隅突出型墳丘墓）
島根県邑智郡邑南町・弥生時代後期中葉（紀元後1～2世紀）

●墳丘墓の構築方法の変化 墳丘 → 埋葬

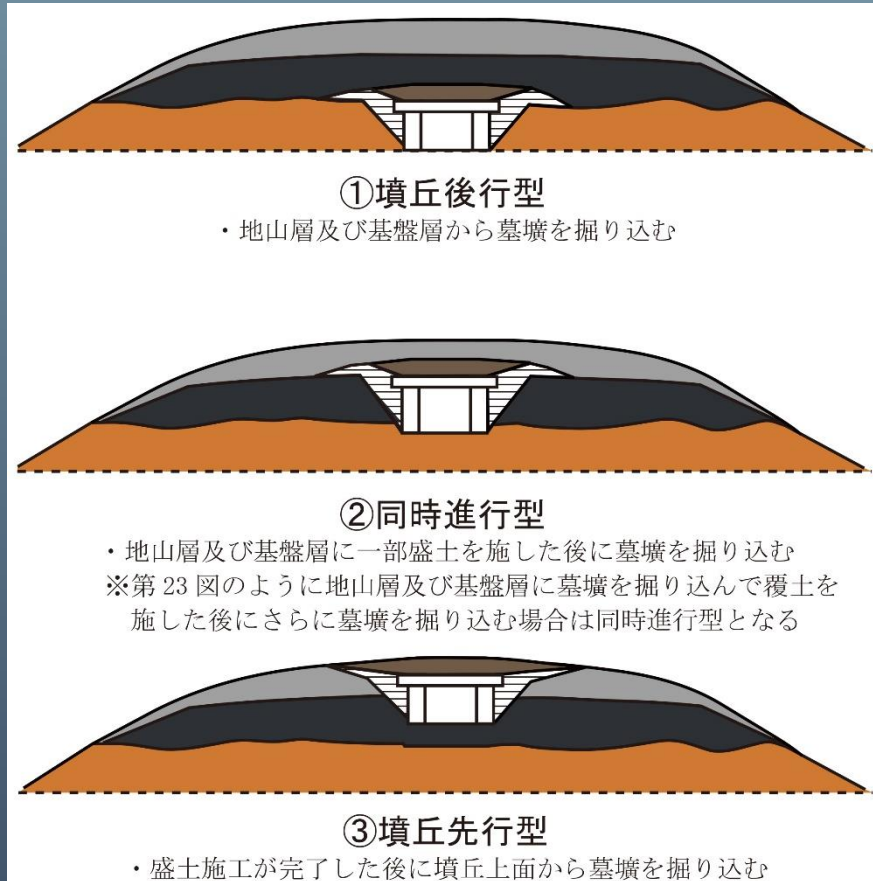
●方形貼石墓の四隅が突出 四隅突出型墳丘墓

順庵原1号墓
弥生時代後期中葉
（島根県古代文化センター・島根県埋蔵文化財調査センター2007より）

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓



墳丘墓の構築と埋葬の関係

墓壙の掘り込み（埋葬）の方法

- ・墳丘（盛土）構築完了以前に墓壙を掘り込む

①墳丘後行型 ②同時進行型

- ・墳丘（盛土）構築完了後に墓壙を掘り込む

③墳丘先行型

● 時期的な変遷をたどる

埋葬 → 墳丘構築

墳丘構築 → 埋葬



弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

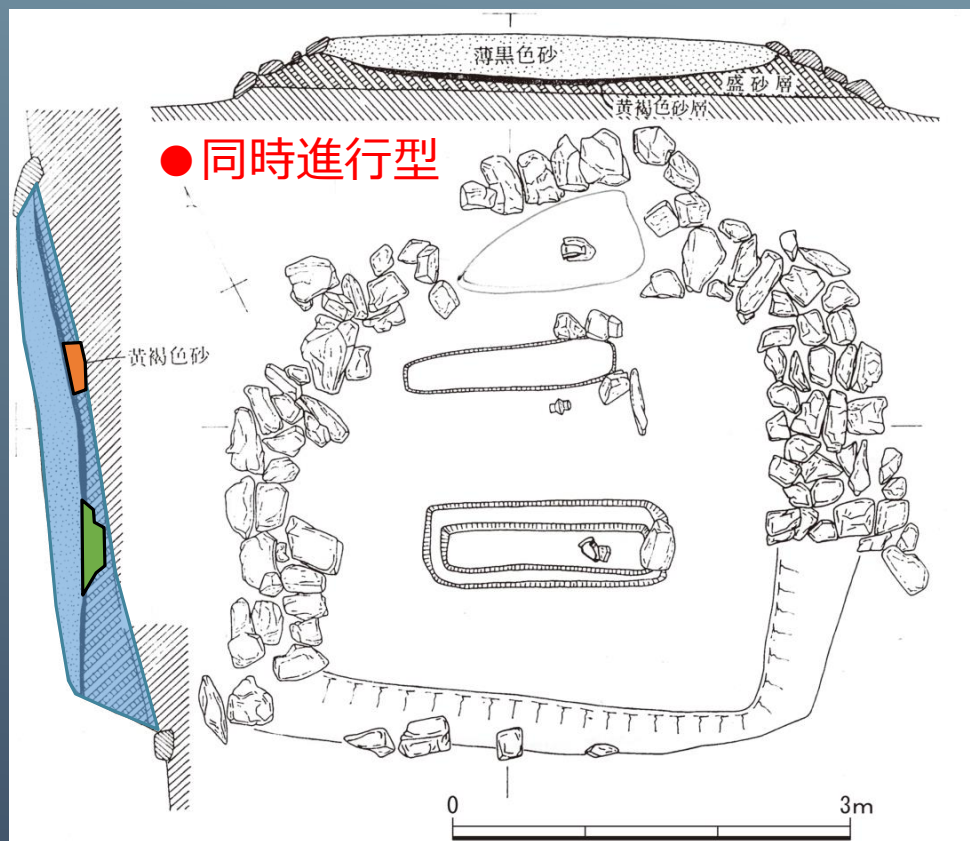
墳丘墓の変容（後期前半）

弥生時代後期になると墳丘先行型の墓壇掘りこみへ変化

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓

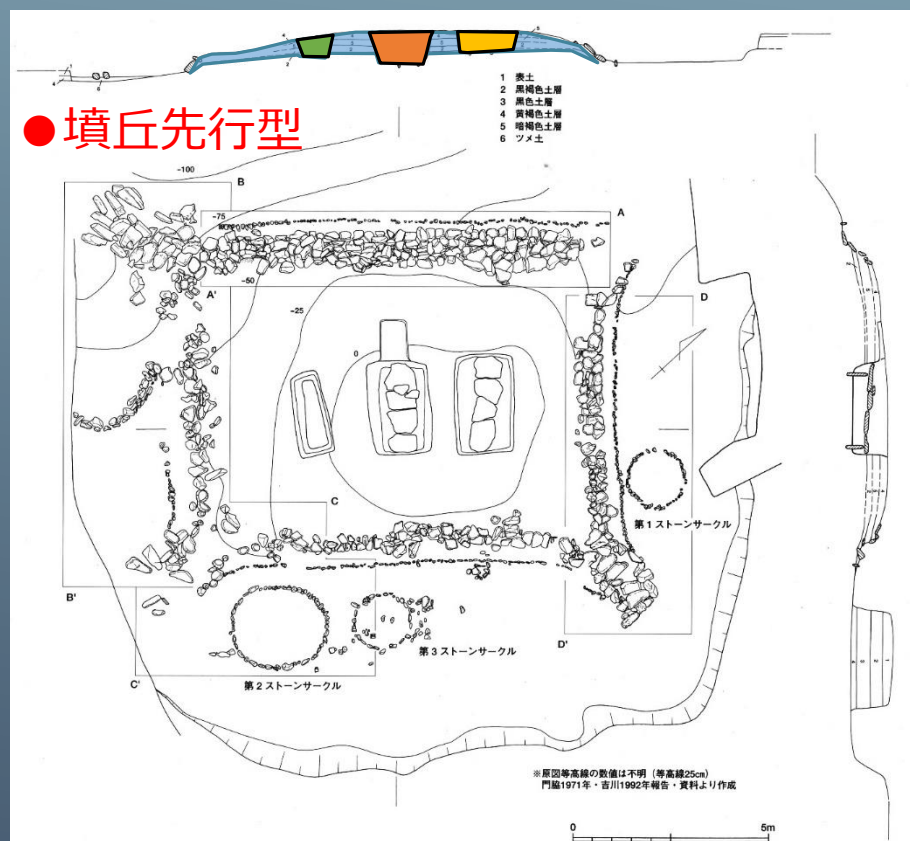
→ 中期までの墳丘墓とは異なる構造

弥生時代中期



波来浜遺跡 A 調査区 2 号墓
弥生時代中期中葉（島根県江津市1973より）

弥生時代後期



順庵原 1 号墓
弥生時代後期中葉
（島根県古代文化センター・島根県埋蔵文化財調査センター2007より）

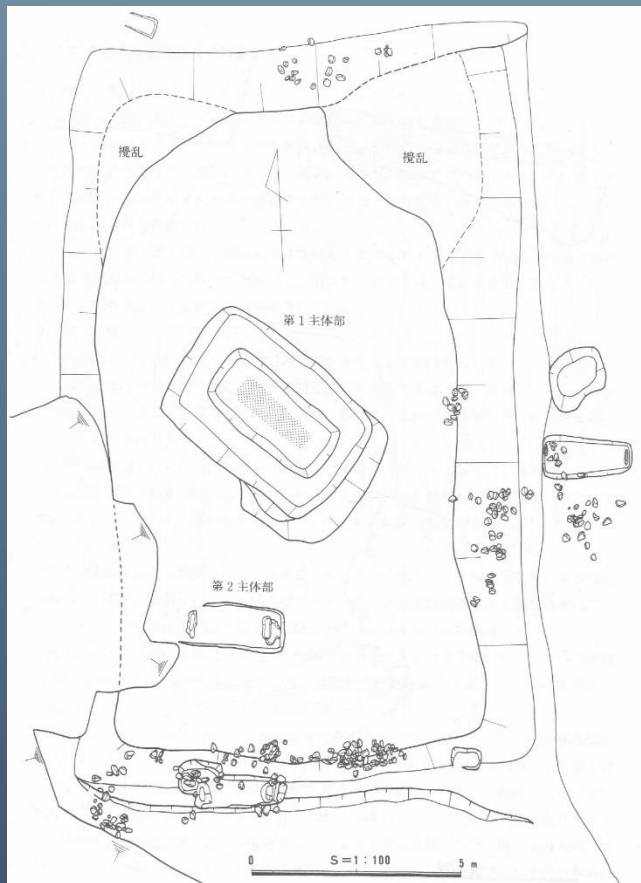


弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

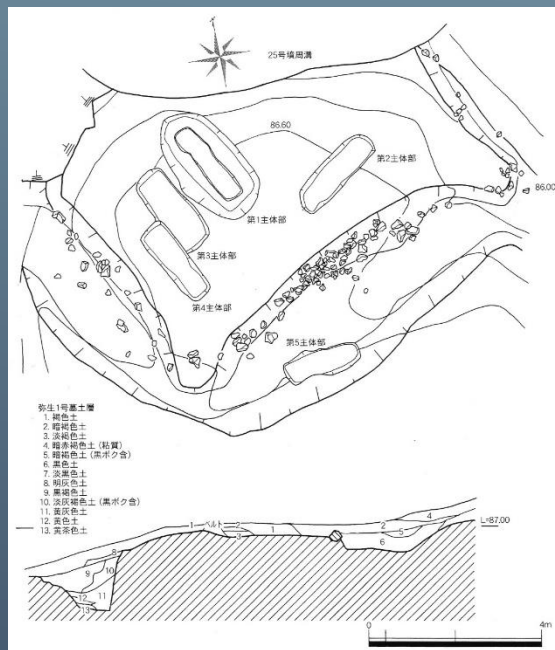
●墳丘墓に埋葬される被葬者の中心性が明瞭

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓

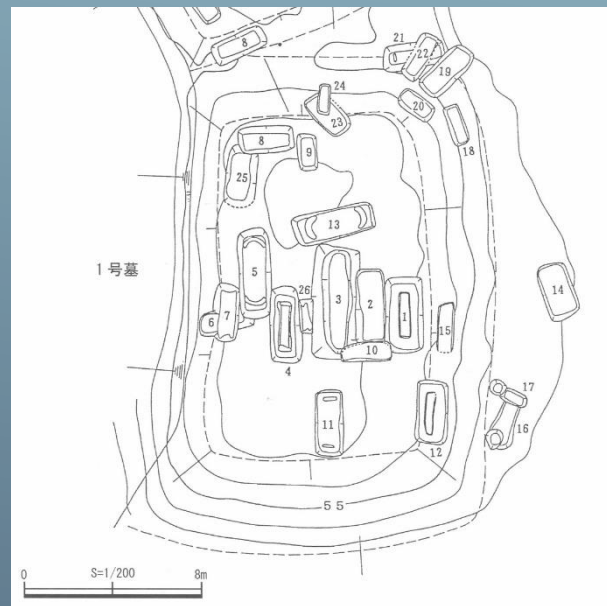


布勢鶴刺奥 1号墳丘墓
鳥取県鳥取市 弥生時代後期前葉
(財)鳥取県教育文化財団1992より

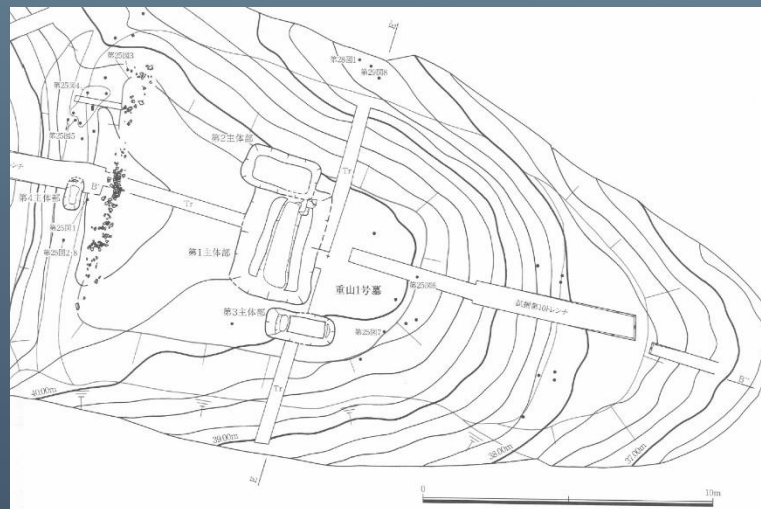
大型墓壇
中心埋葬が大型化



日下弥生 1号墳丘墓
鳥取県米子市 弥生時代後期中葉
(日下古墳群調査団1992より)



門上谷墳墓群 1号墓



重山墳墓群 1号墓

埋葬配置
中心埋葬を意識した墓壇
の配置

鳥取県鳥取市 弥生時代後期中葉
(鳥取県2017より)

鳥取県鳥取市 弥生時代後期中葉
(公益財団法人鳥取市文化財団
2017より)

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

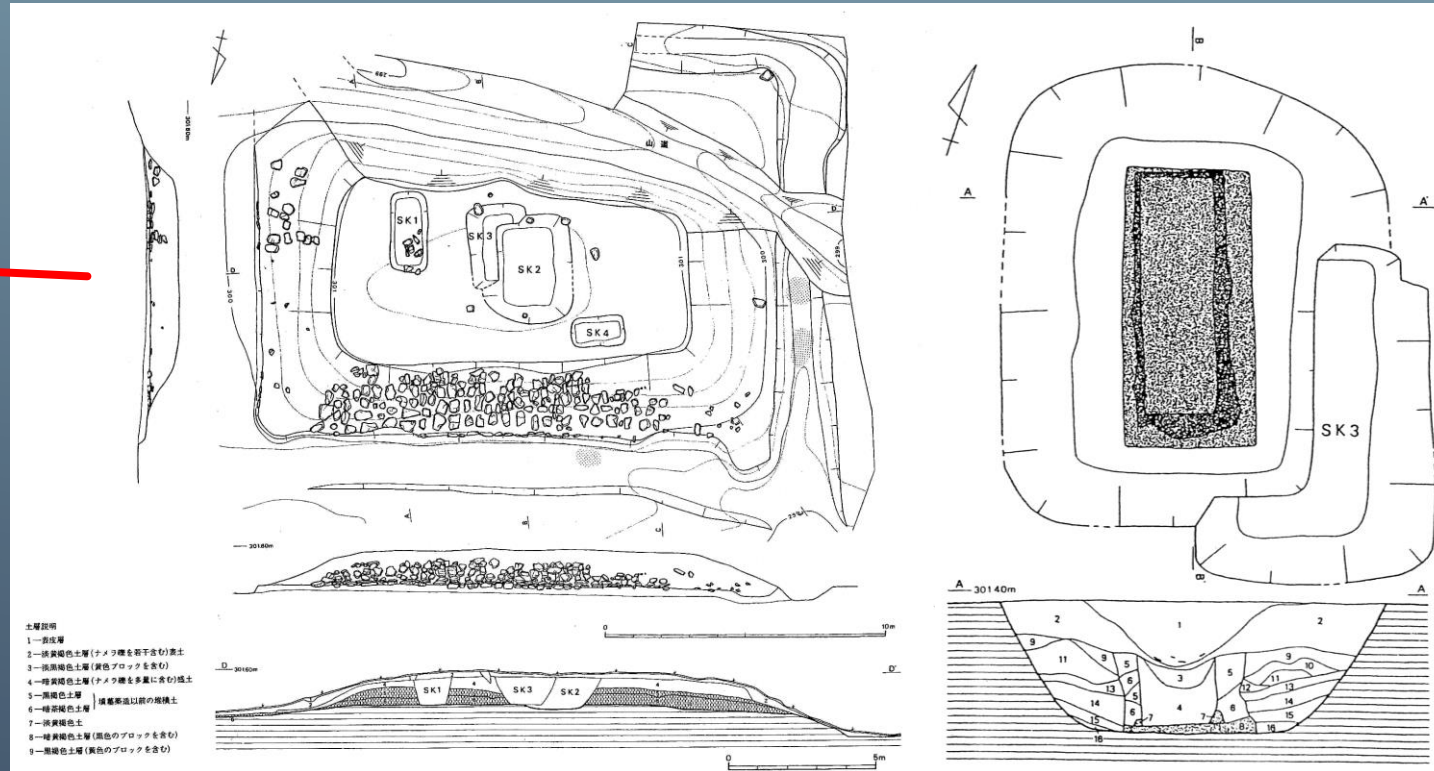
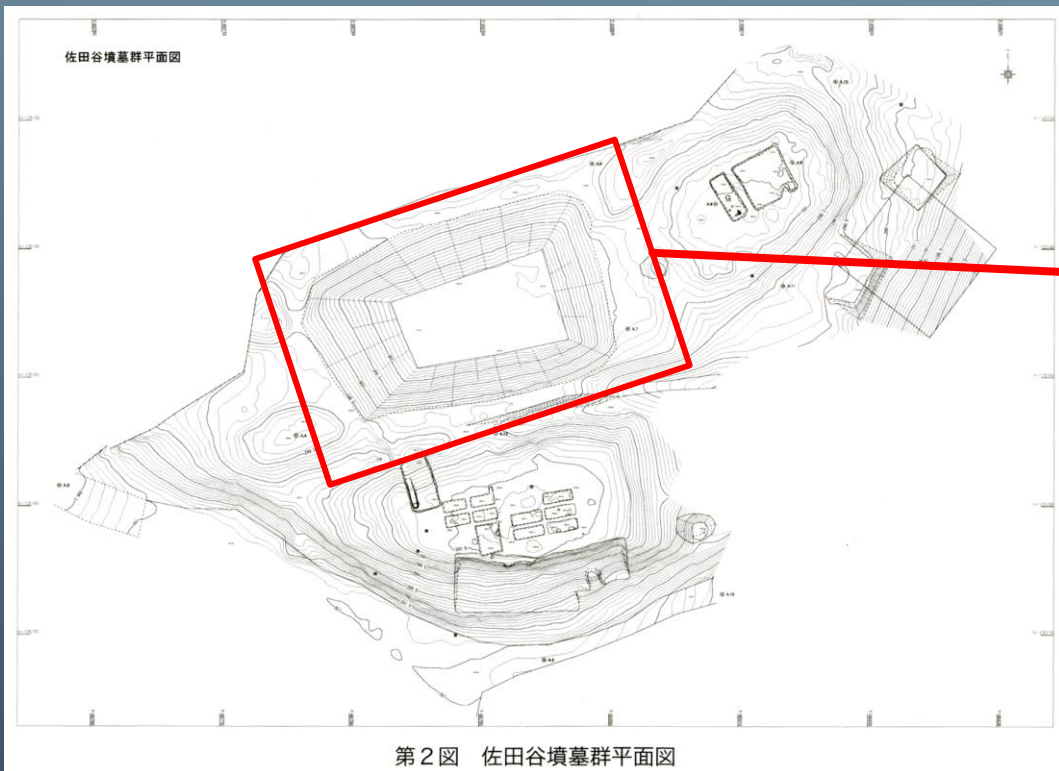
墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓

● 埋葬施設の荘厳化（他地域事例）

木槨墓 ※木棺・木槨の二重構造

中心埋葬（大型墓墳）のみ木槨を採用

中心埋葬（墳丘墓築造契機の被葬者）を厚葬する状況



広島県庄原市：佐田谷墳墓群
(庄原市教育委員会2017より)

広島県庄原市：佐田谷墳墓群 1号墓
弥生時代後期初頭（財団法人広島県埋蔵文化財調査センター1987より）

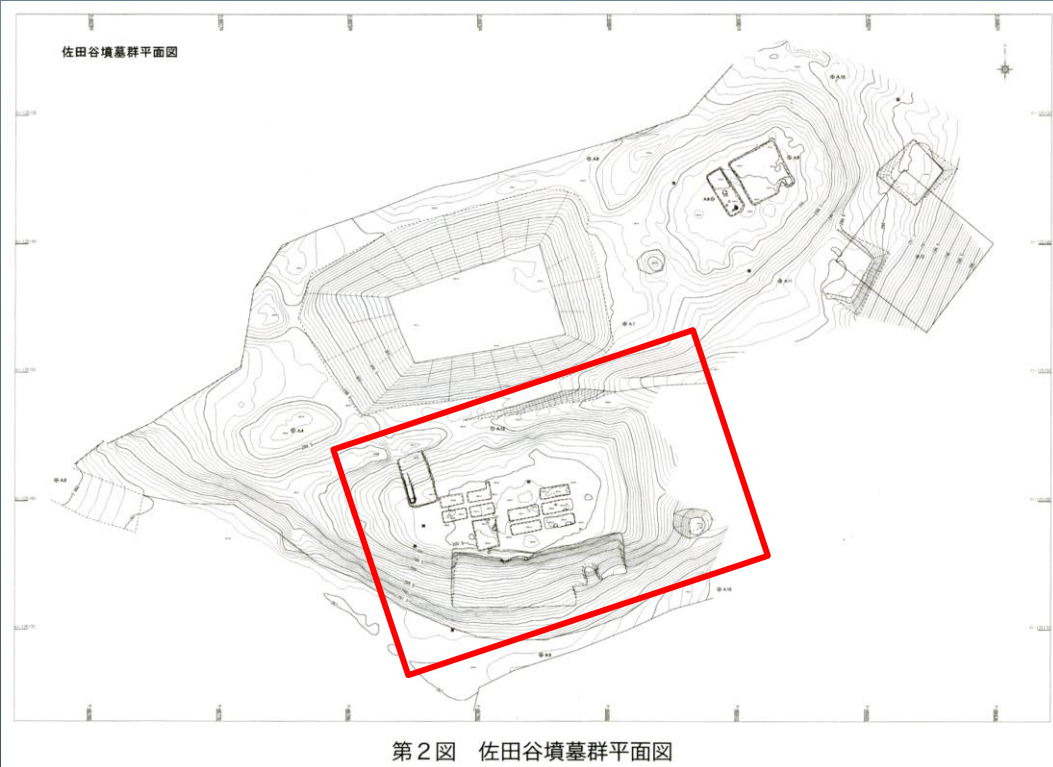
弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

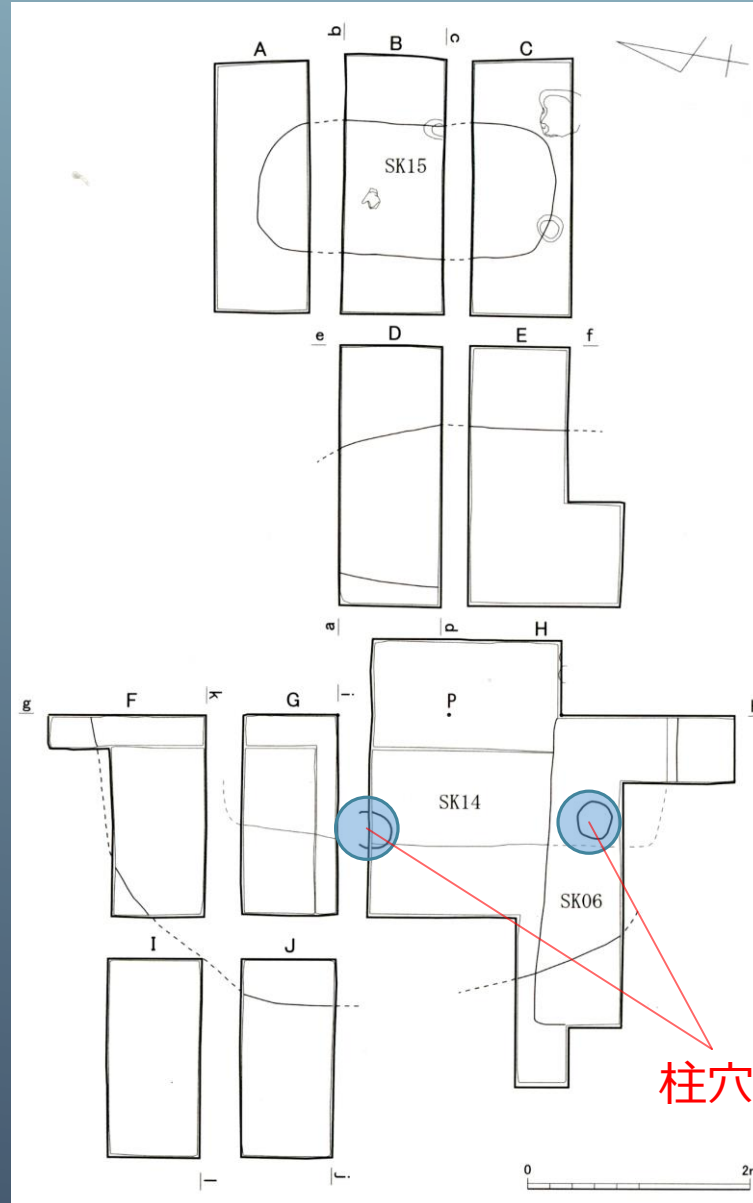
墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓

- 墳丘墓頂部平坦面での祭祀痕跡（他地域事例）

柱穴



広島県庄原市：佐田谷墳墓群
(庄原市教育委員会2017より)



広島県庄原市：佐田谷墳墓群3号墓
弥生時代後期前葉（庄原市教育委員会2017より）

被葬者の埋葬後に柱を墳丘上に設置

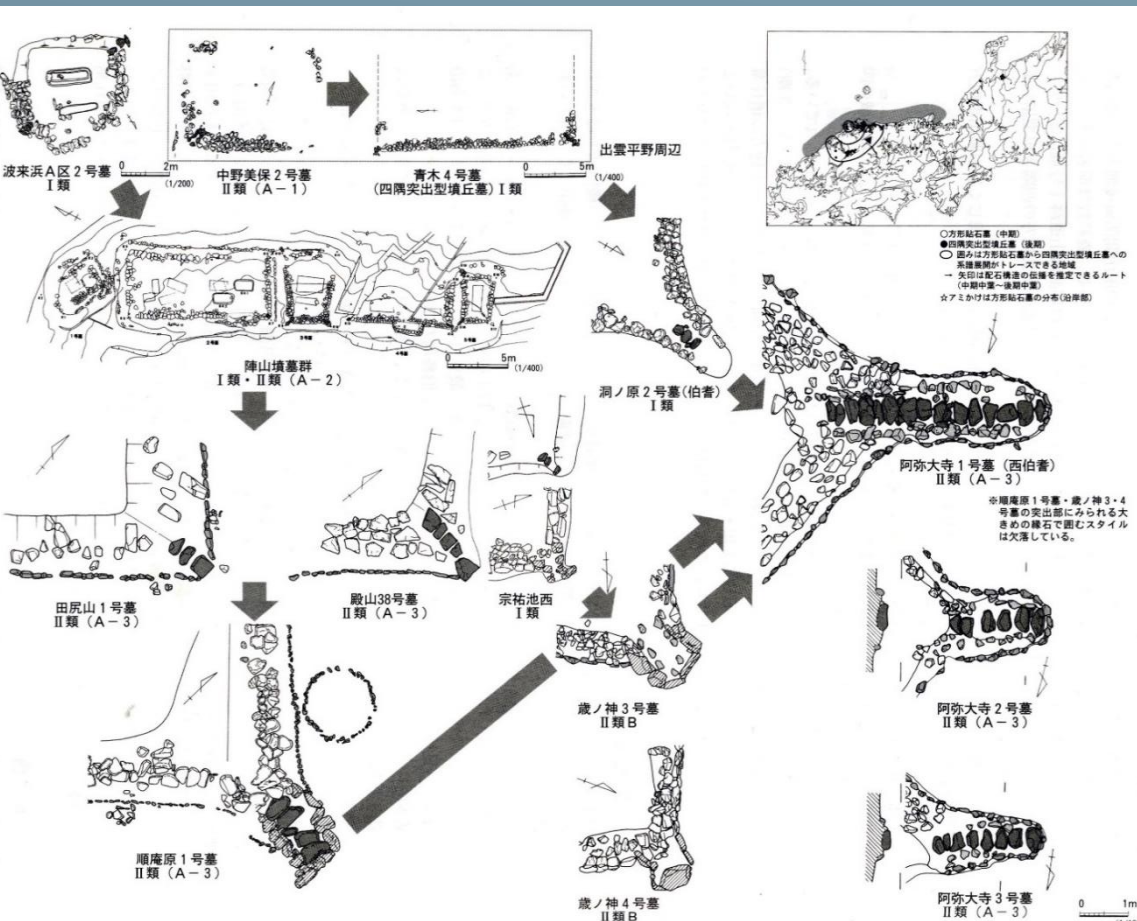
→ 墳丘上に祭祀空間を創出

埋葬後に墳丘墓を儀礼の場として利用した祭祀（葬送儀礼）の執行を想定

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓

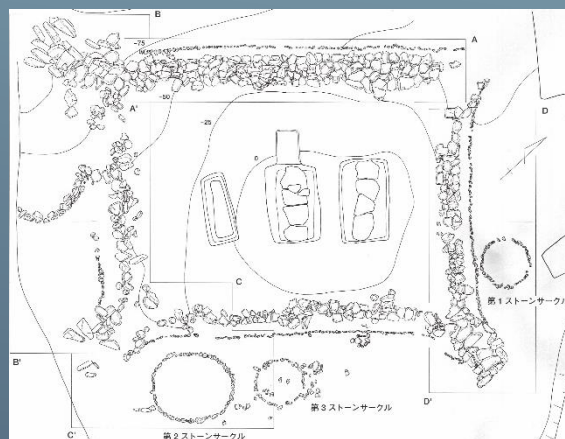


四隅突出型墳丘墓の配石構造の伝播（仁木2007より）

四隅突出型墳丘墓

方形貼石墓の隅角部の貼石が発達していくことで四隅が突出する（仁木2007）

→ 中期まで普遍的であった方形貼石墓を起源



順庵原1号墓

（島根県古代文化センター・島根県埋蔵文化財調査センター2007より）



中野美保1号墓

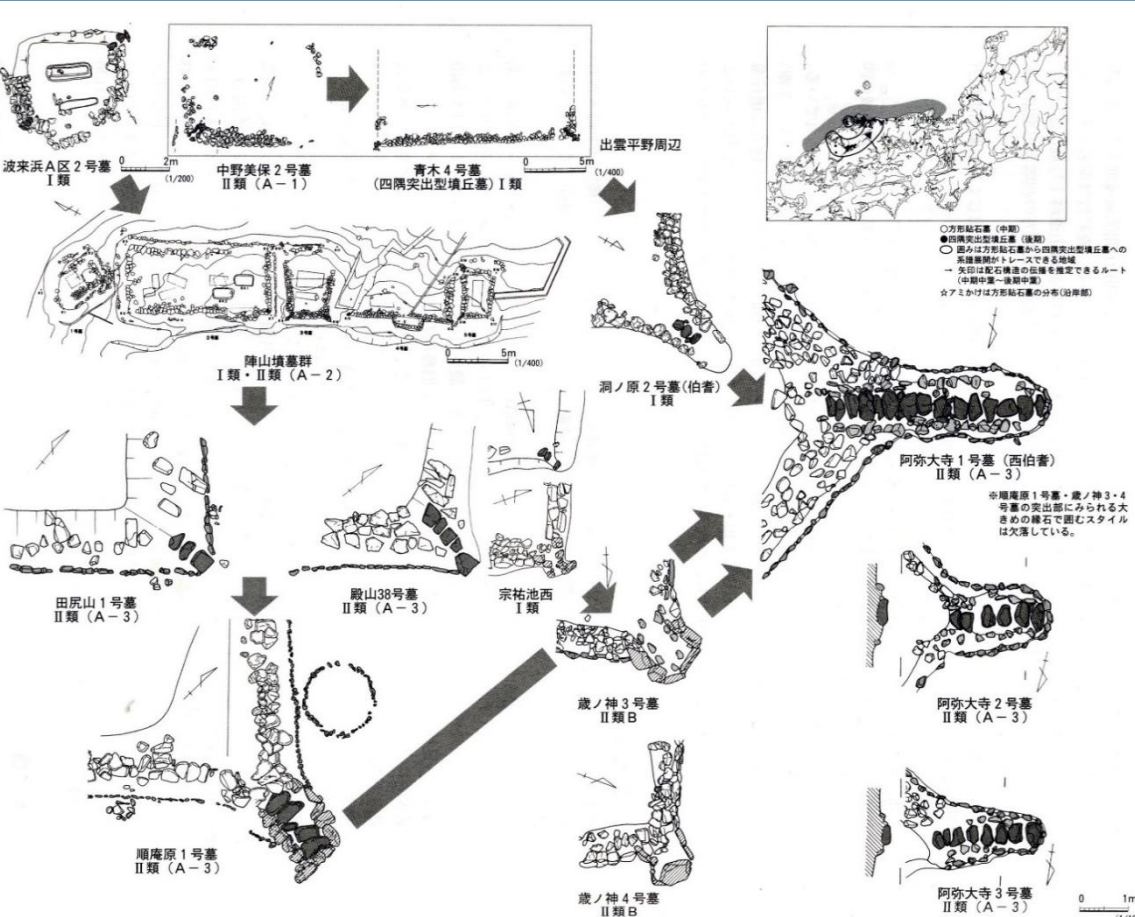
（島根県教育委員会2004より）

機能としては諸説あるが、隅角部稜線上に石列（踏石状石列）が施される事例から、墳丘墓頂部平坦面への通路として機能していたことも想定

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓

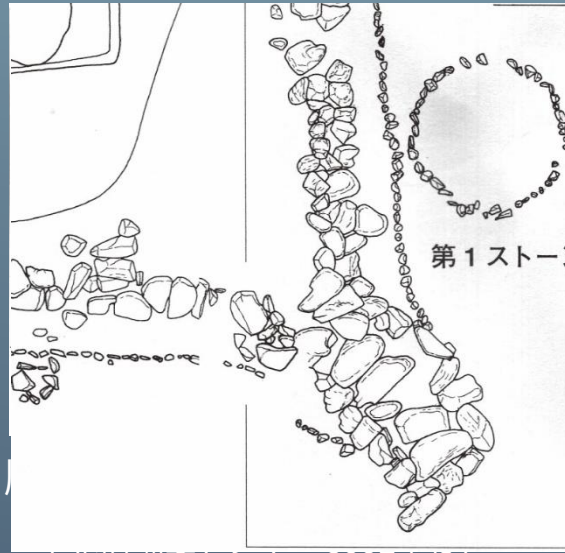


四隅突出型墳丘墓の配石構造の伝播（仁木2007より）

四隅突出型墳丘墓

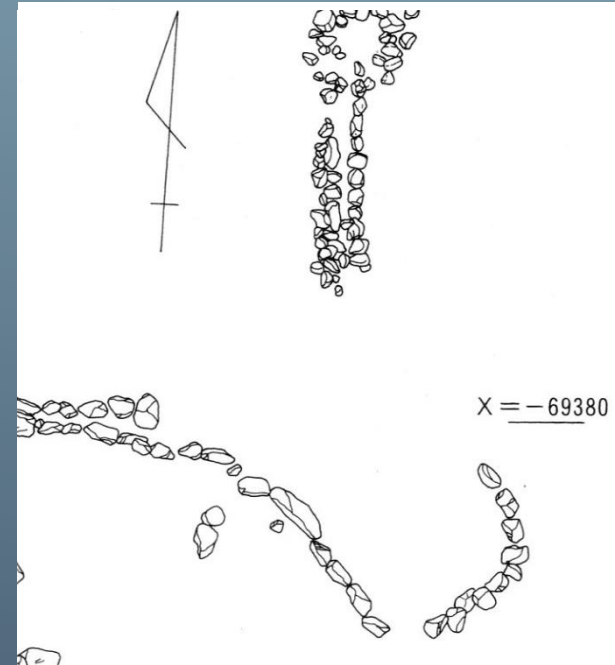
方形貼石墓の隅角部の貼石が発達していくことで四隅が突出する（仁木2007）

→ 中期まで普遍的であった方形貼石墓を起源



文化財調査センター2007より）

突出部はさらに発達していく
※肥大化・踏石状石列の消失



中野美保1号墓
（鳥根県教育委員会2004より）

機能としては諸説あるが、隅部稜線上が突出（踏石状石列）しており、墳丘墓頂部平坦面への通路として機能していたことも想定

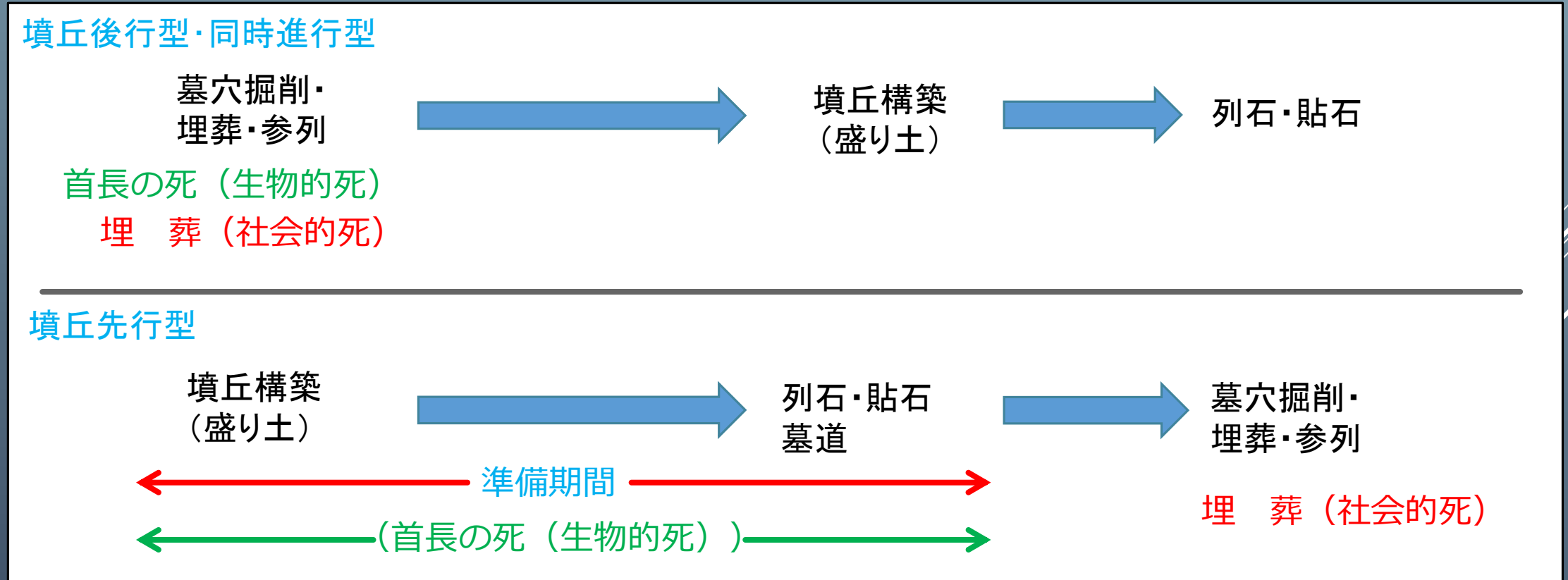
弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓

・ 墳丘墓の構築方法の変化とその背景

野島2018 : 墳丘構築方法の変化 = 被葬者の死に対する埋葬の所作の変化（葬送儀礼の変化）



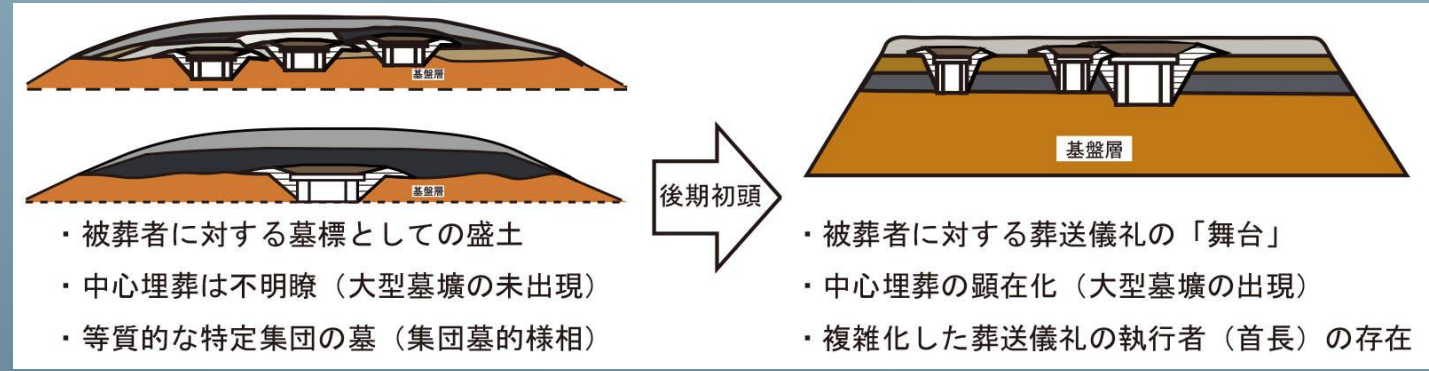
※生物的死と社会的死のずれが大きくなり、社会不安（首長の不在）が発生する。

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

墳丘墓の変容（後期前半）

墳丘墓の構築方法の変化と四隅突出型墳丘墓

- 墳丘墓の構築方法の変化とその背景
- 葬送儀礼の変化（首長墓の場合）



後期初頭以前：首長の死（生物的死）後、すぐに埋葬（社会的死）を行う。

次期首長が首長権の継承を速やかに行うことで社会不安を取り除く。

後期初頭以降：首長の死（生物的死）後、墳丘の構築や墳丘上で執り行う儀礼の準備

（参列者の抽出や副葬品の入手なども含む）を実施し、埋葬（社会的死）を行う。

➡ 生物的死と社会的死のズレ

次期首長が首長の死という社会不安を利用し、首長権力の維持や再生産を旨論む。

➡ あえて社会不安を作り、首長権の継承を次期首長が段階的に執行することで、共同体社会内外へ首長権力を再認識させる（権力の再生産）

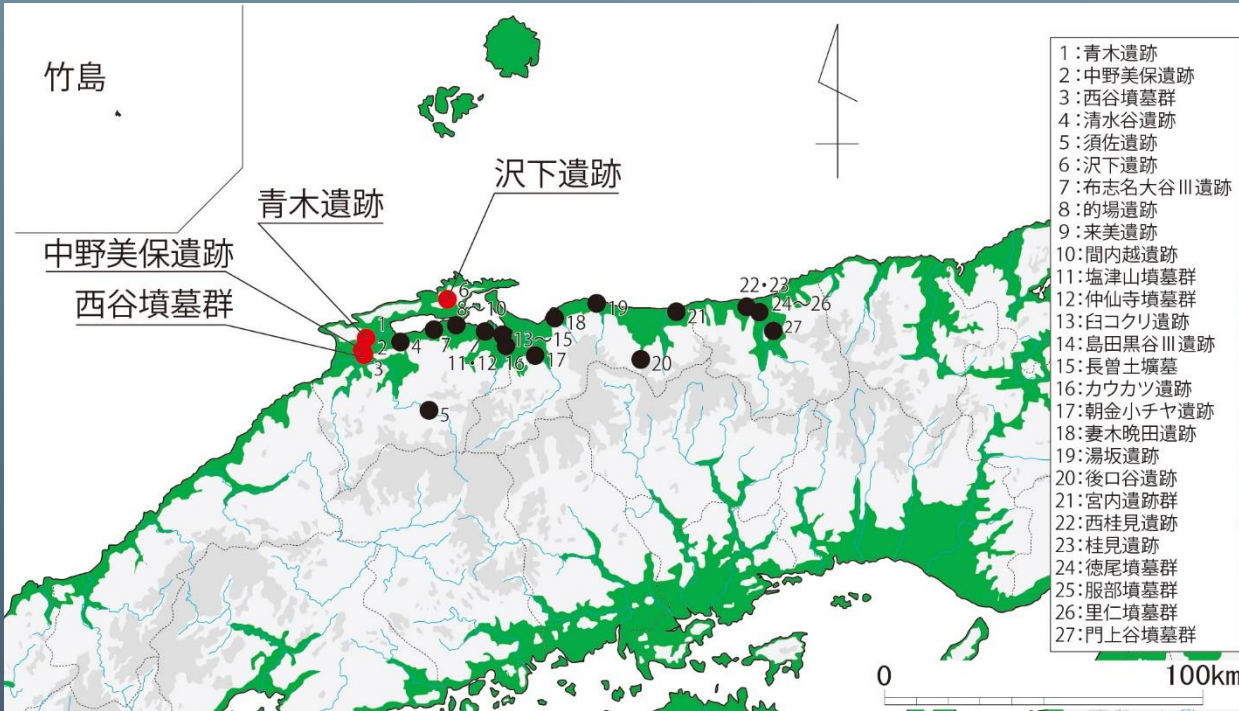
※後期初頭以前と以降では異なる社会構造をもつことが墓から推察できる

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

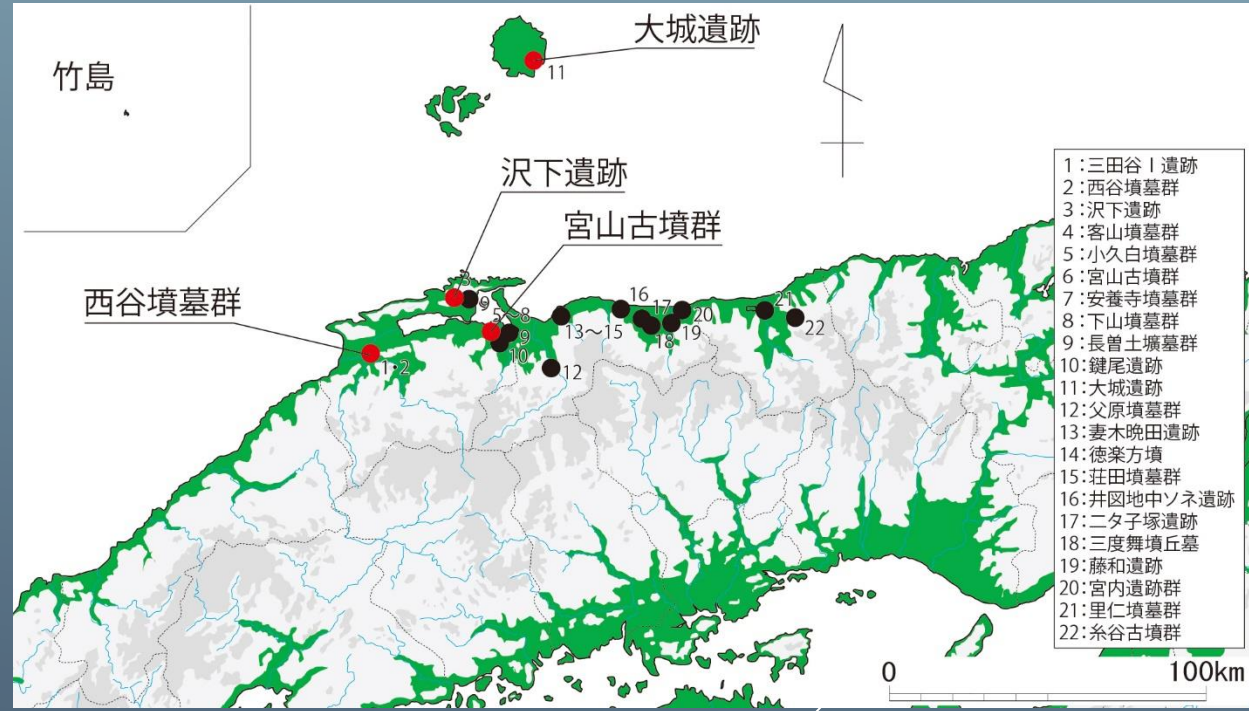
大型墳丘墓の出現（後期後半）

四隅突出型墳丘墓の拡がり

弥生時代後期後葉（紀元後2世紀後半）



弥生時代終末期（紀元後3世紀前半）



弥生時代後期後半の主な墳丘墓（四隅突出型墳丘墓・台状墓・区画墓など）

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

大型墳丘墓の出現（後期後半）

四隅突出型墳丘墓の拡がり



沢下遺跡 6号墓

島根県松江市 弥生時代後期後葉
写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター



青木遺跡 1号墓 弥生時代後期後葉

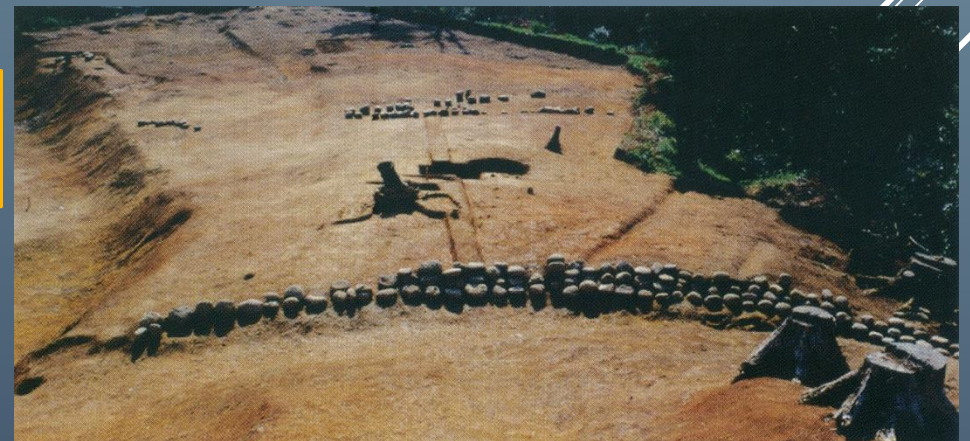
島根県出雲市 写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター



島根県東部（出雲・隠岐）
に四隅突出型墳丘墓が拡散

宮山Ⅳ号墓

弥生時代終末期
島根県安来市



大城遺跡 1号墓 弥生時代終末期

島根県隠岐郡隠岐の島町 写真提供：隠岐の島町教育委員会

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

大型墳丘墓の出現（後期後半）

四隅突出型墳丘墓の拡がり



沢下遺跡 6号墓

島根県松江市 写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター



中野美保遺跡 1号墓

島根県松江市 写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター

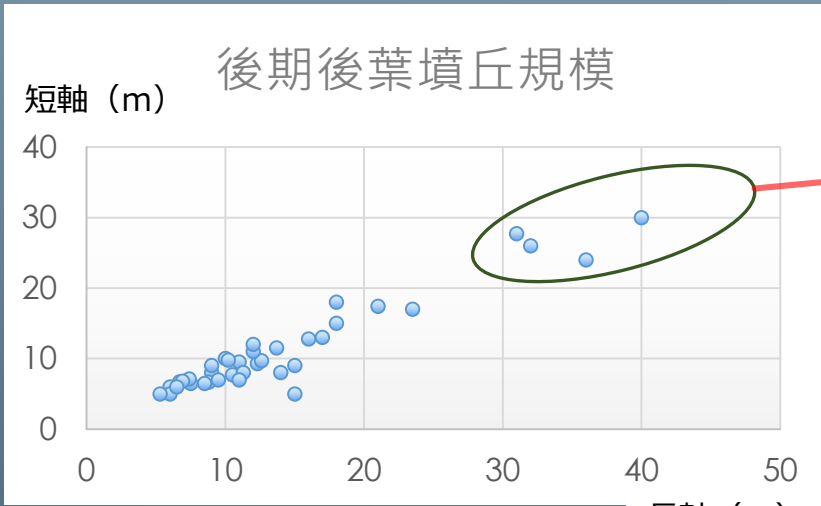
丘陵上に位置する墳丘墓だけでなく、平野部などの低地でも四隅突出型墳丘墓が築造される

➡ 墳丘墓の墳形選択として、「四隅突出型」を選択する地域的なまとまりを確認できる
※共通する墓制を採用する集団 = 地域的連帯関係の存在

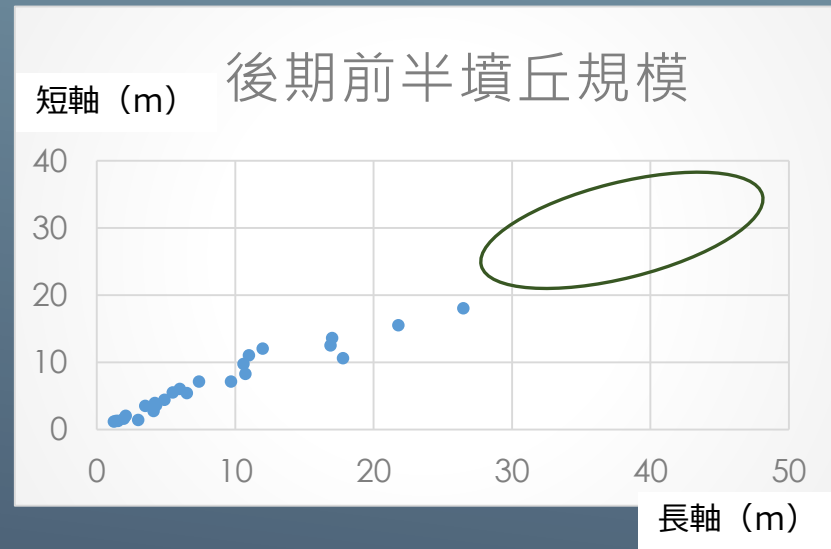
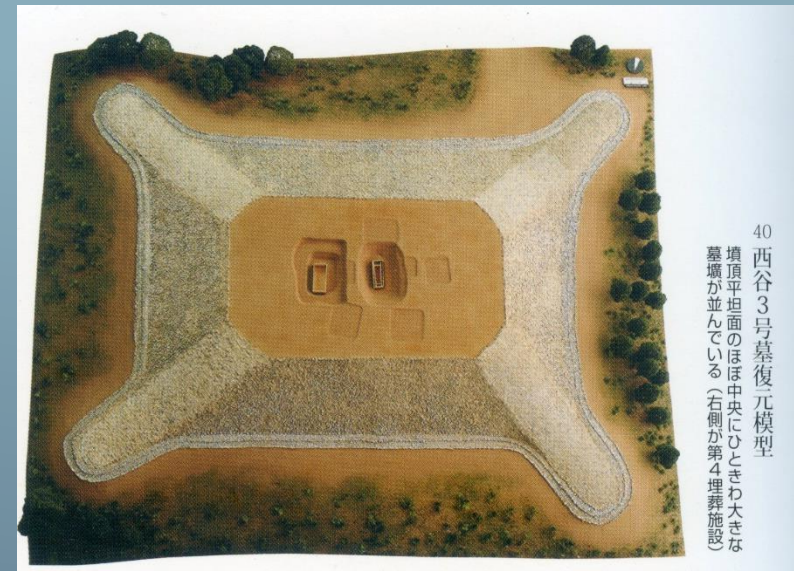
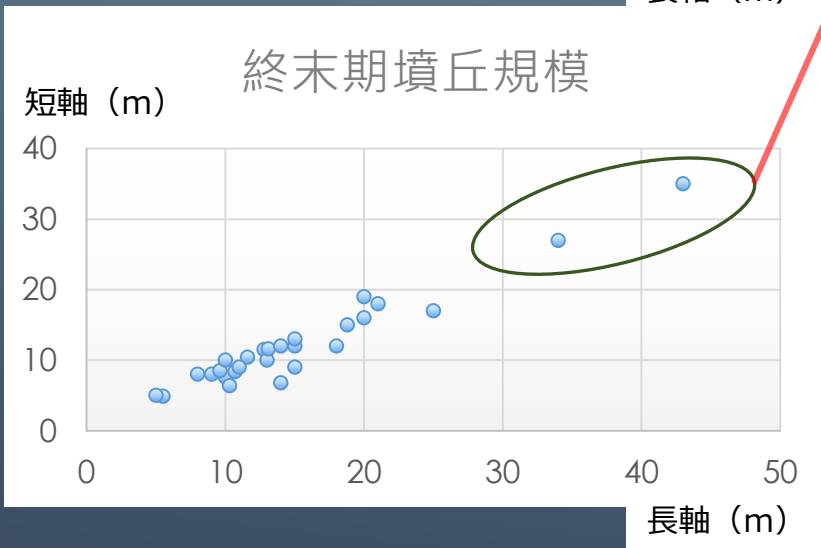
弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

大型墳丘墓の出現（後期後半）

大型墳丘墓の出現



(超) 大型墳丘墓

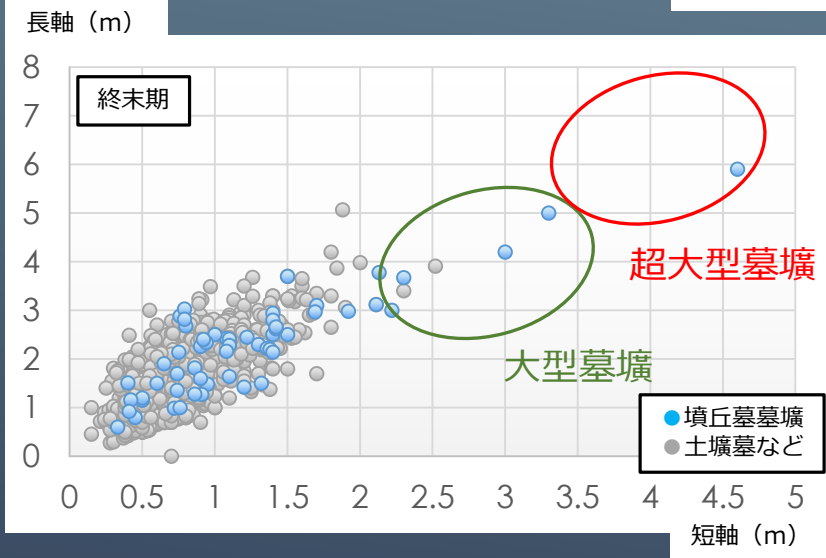
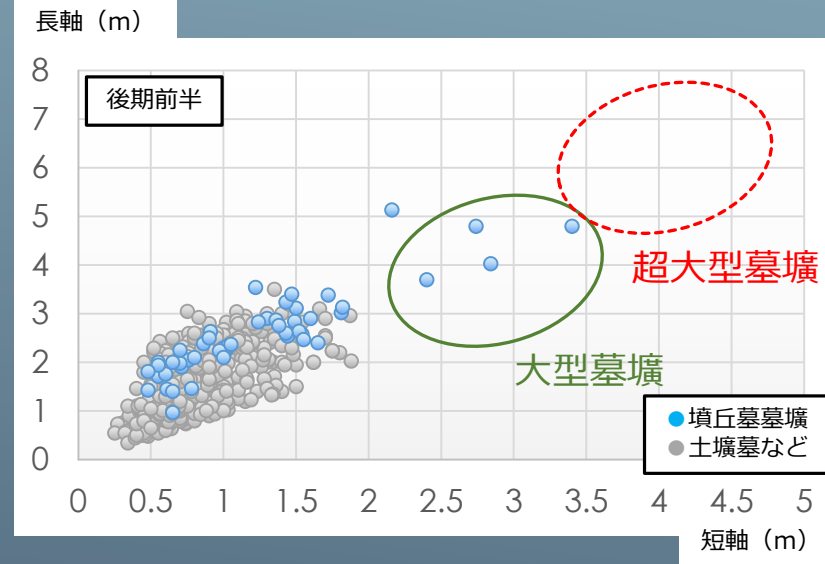
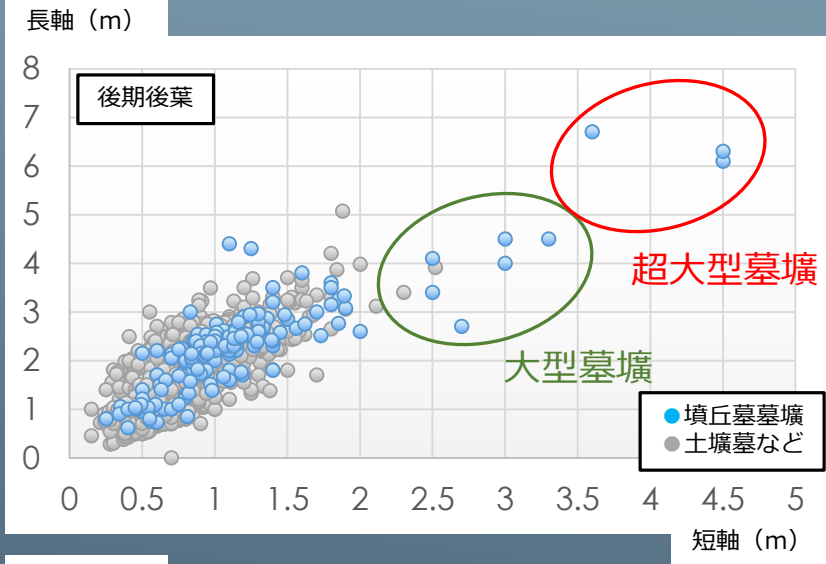


後期前半段階では確認できなかった (超) 大型墳丘墓が出現

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

大型墳丘墓の出現（後期後半）

大型墓壇の存在



西谷墳墓群 3号墓第1主体
島根県出雲市 弥生時代後期後葉
写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室

後期後葉以降、超大型の規模を有する墓壇が出現
(超) 大型墳丘墓の中心埋葬で確認

➡ 中心埋葬の隔絶化・厚葬化がさらに進展する状況
首長権力の強大化を想定

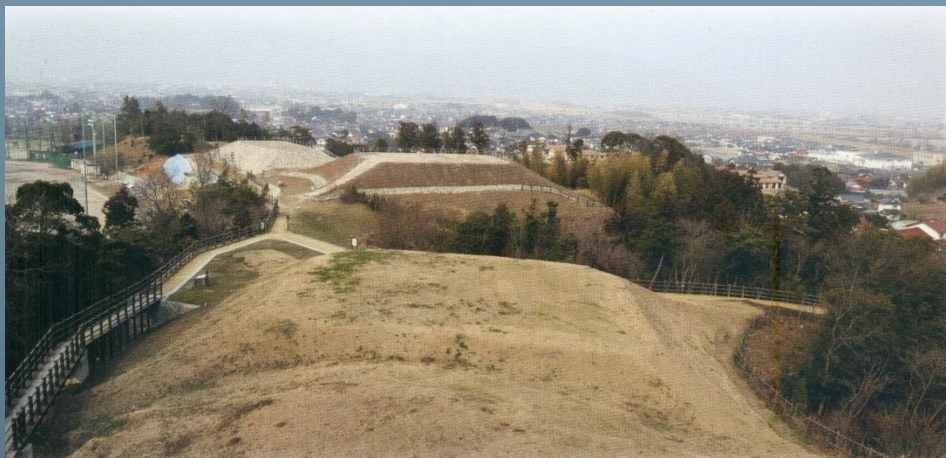
平野単位などの集団を超え、地域的連帯関係をもつ集団の代表者の存在

➡ 大首長 (王) の出現

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

大型墳丘墓の実際（出雲市西谷墳墓群3号墓）

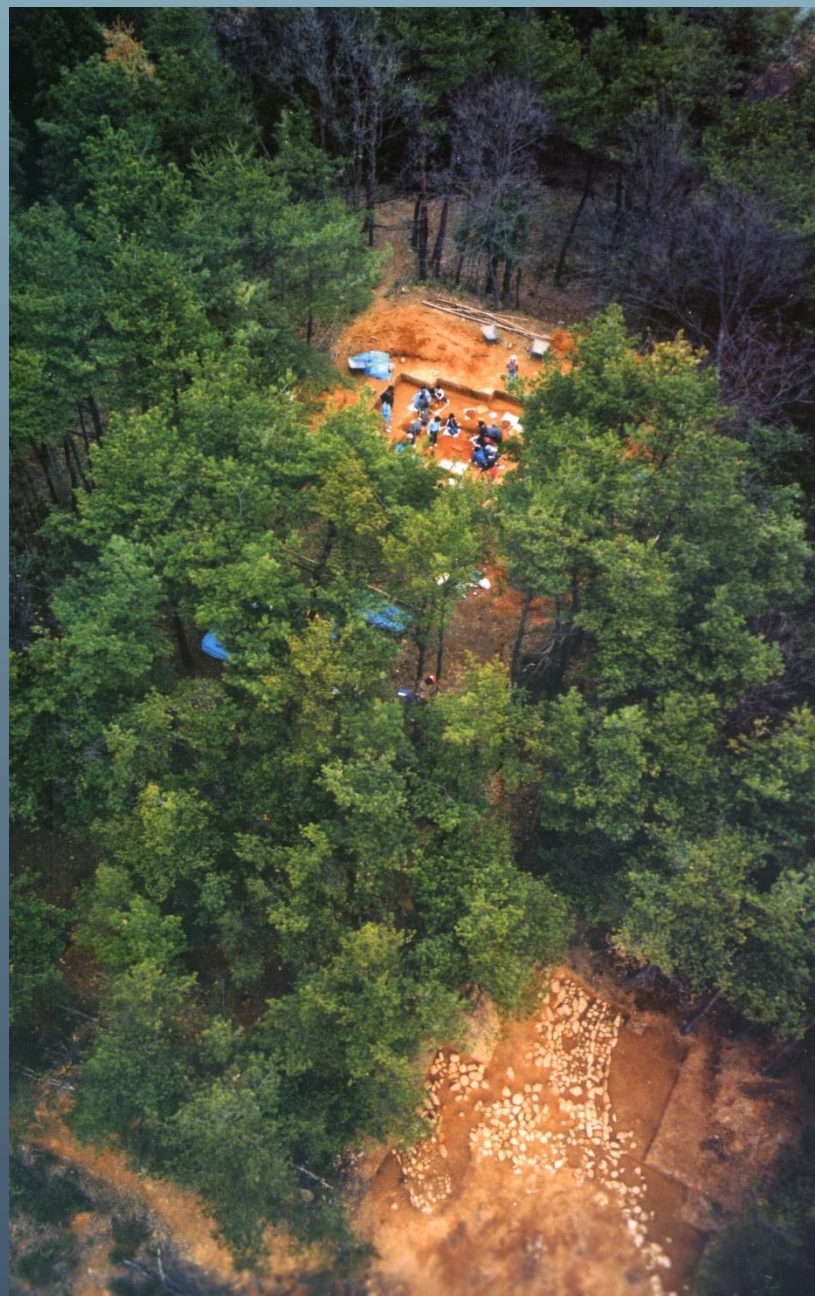
大型墳丘墓の具体像～西谷墳墓群の詳細～



西谷墳墓群
島根県出雲市
写真提供：出雲市

弥生時代後期から古墳時代、奈良時代にかけての墓地遺跡（墳墓群）で墳丘を持つ墓だけでも27基が密集しています。特に弥生時代後期～終末期に造られた6基の四隅突出型墳丘墓は出雲の権力者たちの墓と考えられており、（超）大型墳丘墓である2号墓・3号墓・4号墓・9号墓は弥生時代後期に出雲を支配した王たちの墓の位置づけがされています。

弥生時代の四隅突出型墳丘墓以降、古墳時代前半には古墳、古墳時代の終わり頃には「横穴墓」が造られています。

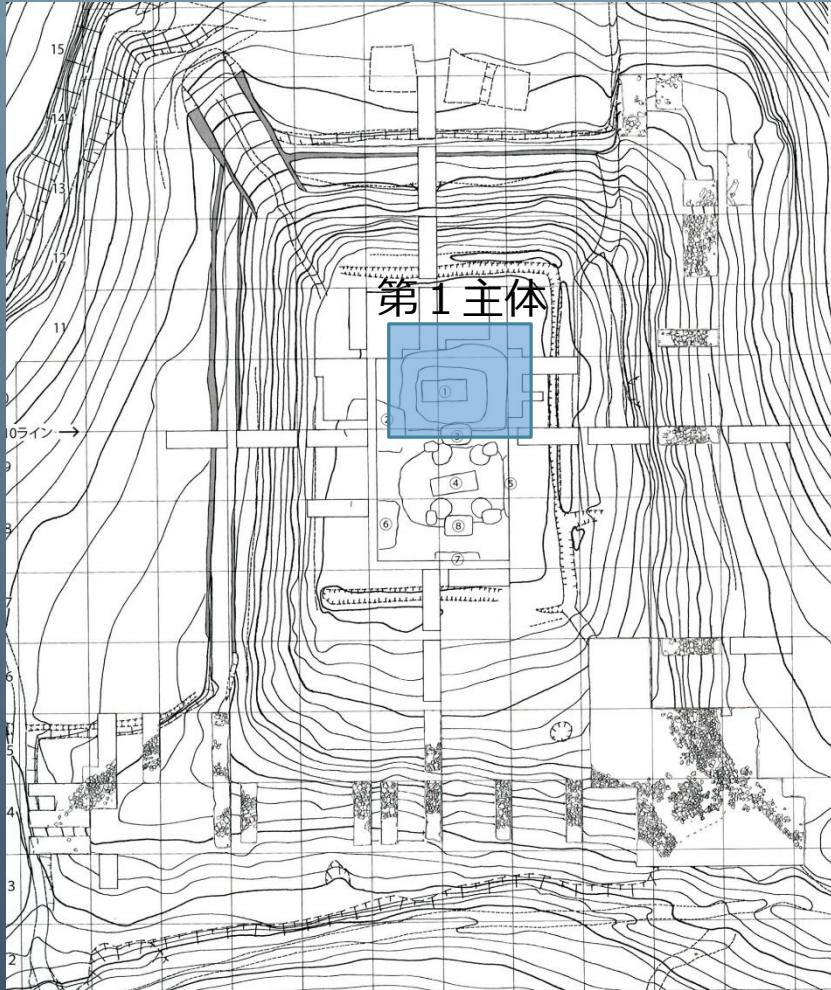


西谷3号墓
島根県出雲市
写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

大型墳丘墓の実際（出雲市西谷墳墓群3号墓）

●西谷3号墓



西谷墳墓群3号墓 弥生時代後期後葉

島根県出雲市

（島根大学考古学研究室・出雲弥生の森博物館2015より）

第1主体



西谷墳墓群3号墓第1主体

写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室

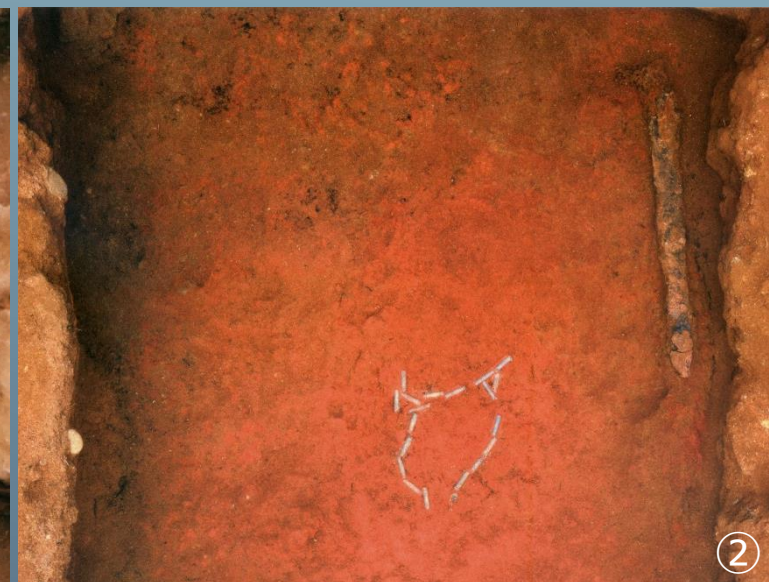
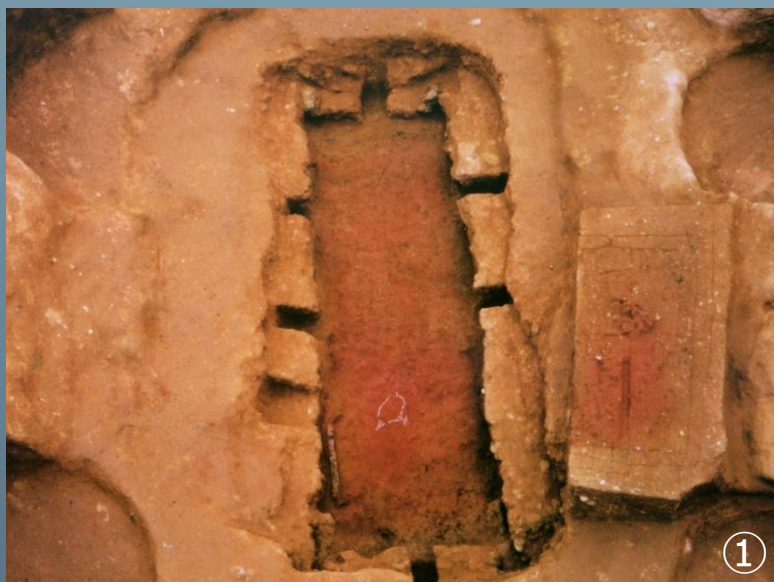
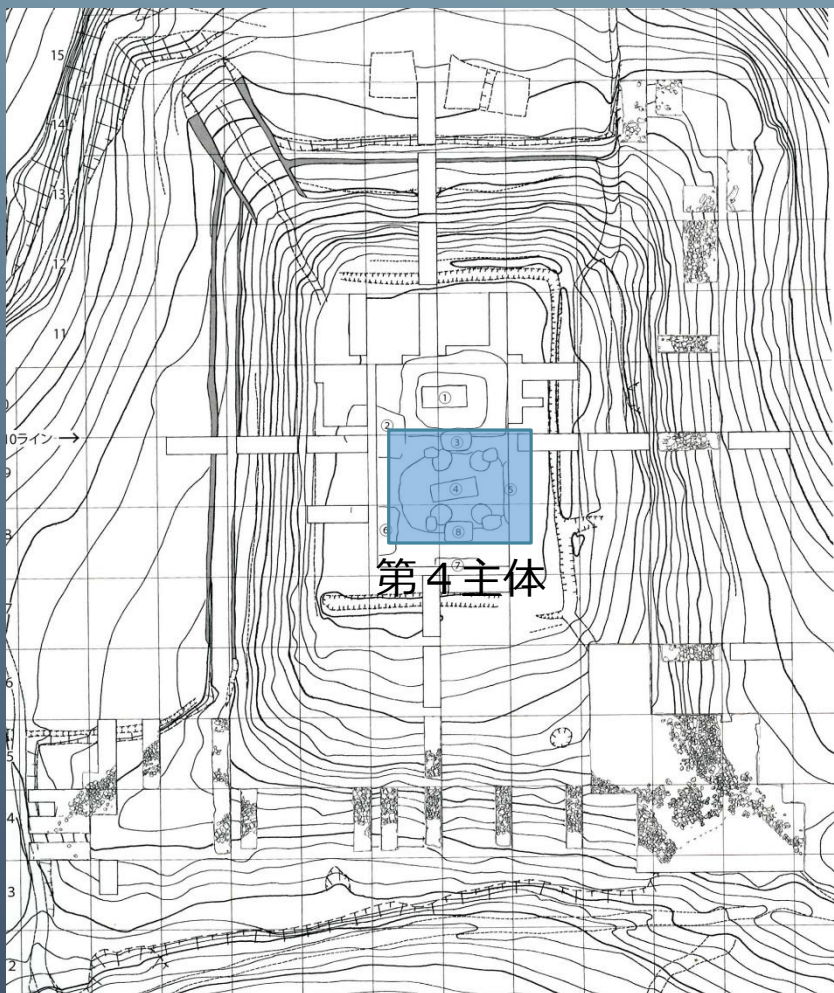
- ①：第1主体部検出状況
- ②：装身具出土状況-1
- ③：装身具出土状況-2
- ④：出土した装身具

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

大型墳丘墓の実際（出雲市西谷墳墓群3号墓）

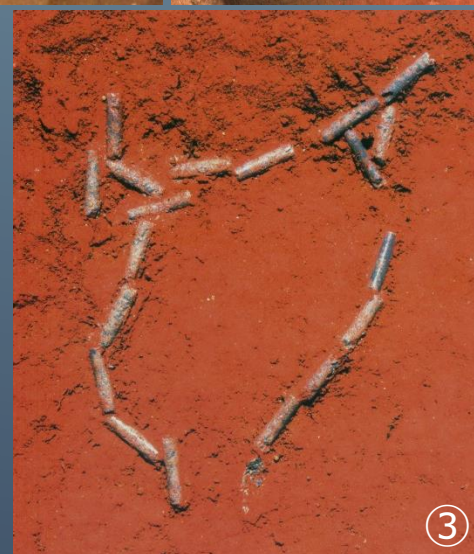
●西谷3号墓

第4主体



西谷墳墓群3号墓第4主体
写真提供：出雲市・島根大学考古学
研究室

- ①：第4主体部検出状況
- ②：副葬品出土状況
- ③：ガラス製大型管玉（首飾）
- ④：鉄剣



西谷墳墓群3号墓 弥生時代後期後葉
島根県出雲市
(島根大学考古学研究室・出雲弥生の森博物館2015より)

弥生時代後期の墓制～墳丘墓の変容と大形墳丘墓の出現～

大型墳丘墓の実際（出雲市西谷墳墓群3号墓）

●西谷3号墓



西谷墳墓群3号墓第4主体上面出土土器
島根県出雲市 弥生時代後期後葉
写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室




西谷墳墓群3号墓第4主体上面検出柱穴
島根県出雲市 弥生時代後期後葉
写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室

後期前半同様に墳丘墓上を葬送儀礼の場として利用
大首長（王）の場合、大量の土器を用い、墓上施設が伴うなど、荘厳な祭祀空間を創出している。

被葬者の生前保有していた権威に応じた葬送儀礼が執り行われていた
葬送儀礼の執行者 = 次代の大首長（首長権力の継承）



西谷墳墓群3号墓出土土器
写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室

- I はじめに 本講座の目的
 - II 弥生時代前期の墓制 ～弥生墓制の伝播と受容～
 - III 弥生時代中期の墓制 ～墳丘墓の出現過程～
 - IV 弥生時代後期の墓制 ～墳丘墓の変容と大型墳丘墓の出現～
 - V 墓制の発達とその背景
- 

墓制の発達とその背景

地域間交流と首長権力の醸成



西谷墳墓群 3号墓の丹越系土器
島根県出雲市 弥生時代後期後葉
写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室

西谷墳墓群 3号墓では、主体部上面から出土した土器に、丹越系（近畿北部地域や北陸地域）や吉備系の土器が含まれている。

墓上で行われた葬送儀礼に使用された土器であることから、葬儀にこれらの地域から参加していたことが想定

➡ 遠隔地との地域間交流の存在

遠隔地との交流を想定できる文物

土器 玉（石製管玉・ガラス製）

鉄器 青銅器 木製品など



西谷墳墓群 3号墓の吉備系土器
島根県出雲市 弥生時代後期後葉
写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室

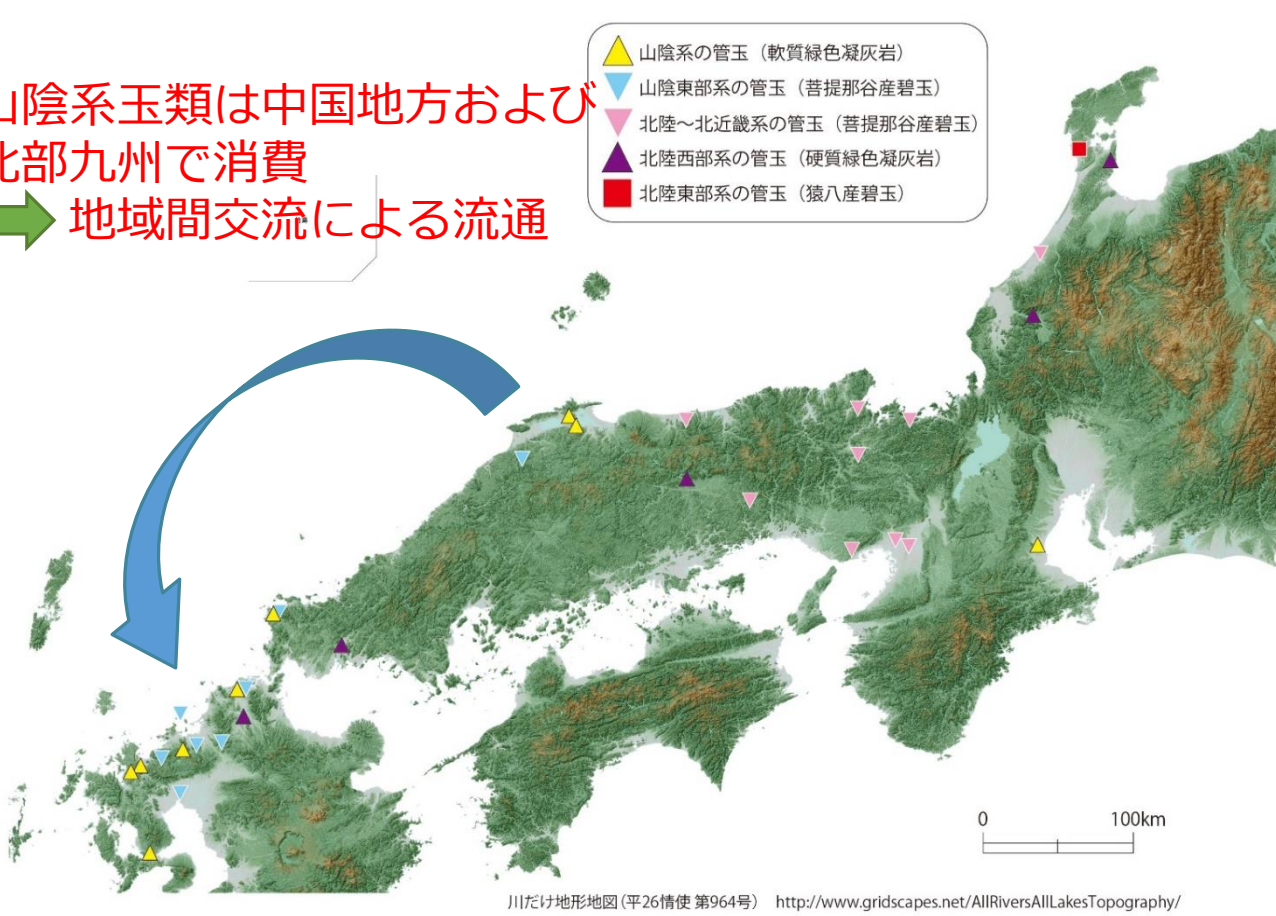
墓制の発達とその背景

地域間交流と首長権力の醸成

弥生時代中期の玉類の流通

山陰系玉類は中国地方および
北部九州で消費
→ 地域間交流による流通

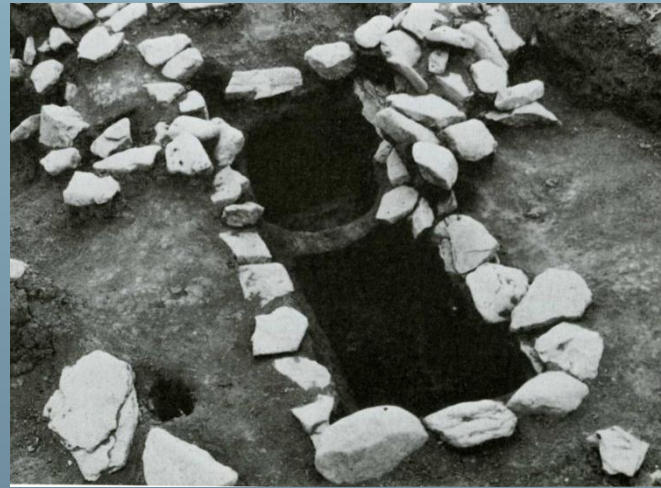
- ▲ 山陰系の管玉 (軟質綠色凝灰岩)
- ▲ 山陰東部系の管玉 (菩提那谷産碧玉)
- ▲ 北陸～北近畿系の管玉 (菩提那谷産碧玉)
- ▲ 北陸西部系の管玉 (硬質綠色凝灰岩)
- 北陸東部系の管玉 (猿八産碧玉)



川だけ地形地図(平26情使 第964号) <http://www.gridscapes.net/AllRiversAllLakesTopography/>

弥生時代中期の管玉出土遺跡

(島根県立古代出雲歴史博物館2024より一部改変)



山陰系玉類を副葬する墳墓群

友田遺跡 (島根県松江市)

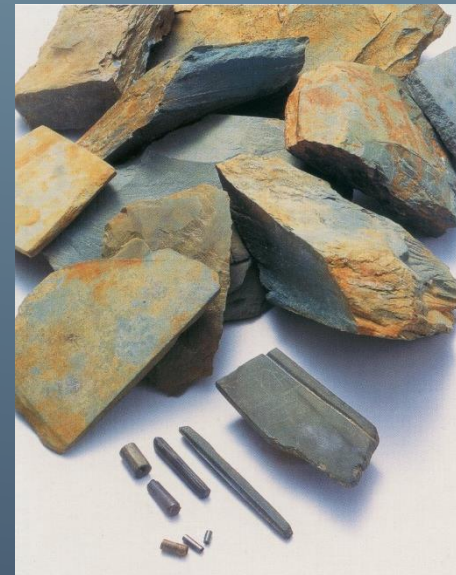
写真提供: 松江市



友田遺跡出土管玉・勾玉

友田遺跡A区 (島根県松江市)

写真提供: 島根県立古代出雲歴史博物館



弥生時代中期の山陰系玉類関係資料 (管玉: 綠色凝灰岩製)

左: 松江市西川追跡 右: 布田遺跡 弥生時代前期末～中期

写真提供: 島根県立古代出雲歴史博物館

墓制の発達とその背景

地域間交流と首長権力の醸成

弥生時代水晶製玉の流通

水晶製玉類は北近畿や山陰で製作遺跡
(玉工房)を確認
製品の多くは北部九州や瀬戸内地域で出土
→ 製作された玉は遠隔地へ流通



水晶の玉作り遺跡と製品出土遺跡の分布 河野・野島 2001、平郡 2022 より作成
西日本の弥生時代水晶製玉出土遺跡
(島根県立古代出雲歴史博物館2024より一部改変)



平所遺跡玉作工房跡
島根県松江市 弥生時代後期後葉
写真提供：島根県埋蔵文化財センター



平所遺跡水晶製玉未成品
写真提供：島根県立出雲歴史博物館



平所遺跡玉作り工具(鉄製)
写真提供：島根県立出雲歴史博物館

墓制の発達とその背景

地域間交流と首長権力の醸成



遠隔地からもたらされた貴重品の一例

①波来浜遺跡 ②西谷墳墓群3号墓

写真提供：①島根県立出雲歴史博物館

②出雲市・島根大学考古学研究室

弥生時代のしまねでは製作されておらず、他地域との交流の結果、入手された貴重品が地域首長墓や王墓の副葬品として採用

貴重な文物の他地域への流通は地域間交流（広域流通ネットワーク）の存在が必要不可欠であり、管理者の存在

※玉類の生産についても、遠隔地への流通や地域内での配布を管理する必要

貴重品の入手についても、地域間交流により入手
遠隔地との入手に関する交渉や入手した貴重品を地域内へ再分配する必要

弥生時代後期のしまねの地域間交流の一例だが、流通などの弥生時代の社会活動を管理する存在が必要

➡ 地域の代表者 = (大) 首長が担う

流通などの弥生時代の社会活動を首長が管理・執行

首長への権力集中し、広域流通などが継続的に執り行われることで首長権力の強大化が進行したと考えられる

➡ 遠隔地との交流に首長が関与

おわりに

しまねの古墳時代にむけて

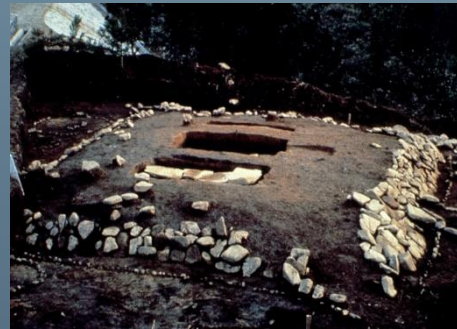
- ・ 首長権力の強大化は古墳時代へつづく
- ・ 弥生時代後期の墳墓で見られる諸要素（墳形選択・大量土器共献など）は継続して確認
- ・ 日本海を通じた地域間交流についても、諸相は変化しつつも古墳時代へ



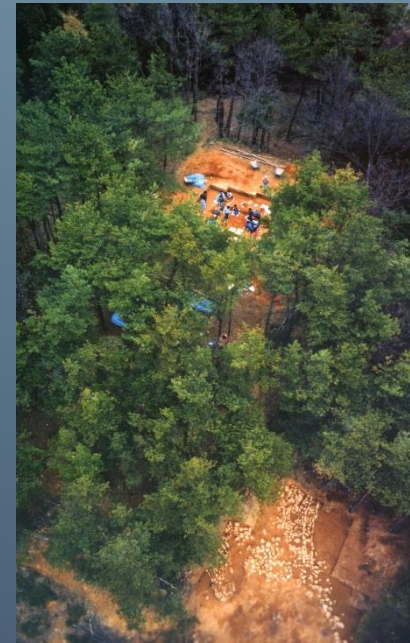
堀部第1遺跡6号墓
写真提供：松江市



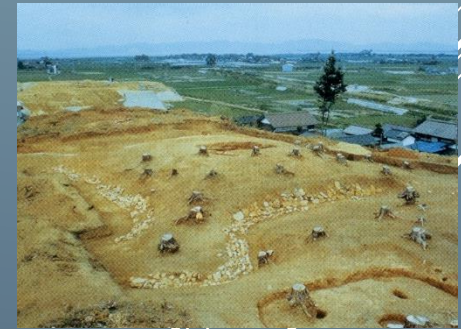
友田遺跡SK05
写真提供：松江市



順庵原1号墓



中野美保遺跡1号墓
写真提供：島根県埋蔵文化財調査センター



宮山Ⅱ号墓



波来浜遺跡A-2号墓
写真提供：江津市教育委員会



西谷3号墓
写真提供：出雲市・島根大学考古学研究室

参考文献および出典

- 今福拓哉 2012「弥生墳丘墓の埋葬施設と墳丘構築に関する研究」『広島大学考古学研究室紀要』第4号、広島大学大学院文学研究科帝釈峡遺跡群発掘調査室・考古学研究室。
- 今福拓哉 2016「備後北部の弥生墳丘墓—弥生時代後期前半を中心として—」『広島大学大学院文学研究科考古学研究室50周年記念論文集・文集』広島大学考古学研究室50周年記念論文集・文集刊行会。
- 今福拓哉 2018「Ⅴ. 中国地方の弥生墳丘墓の構築方法とその展開」『佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書』研究編、広島大学大学院文学研究科考古学研究室・庄原市教育委員会。
- 今福拓哉 2021「山陰地方における墓壙上部の配石構造について」『山陰弥生文化の形成過程』島根県古代文化センター。
- 今福拓哉 2022「山陰弥生墳丘墓の発達過程について」『島根考古学会誌』第38集。
- 島根県立古代出雲歴史博物館 2007『弥生王墓誕生 出雲に王が誕生したとき』。
- 島根県立古代出雲歴史博物館 2009『輝く出雲ブランド 古代出雲の玉作り』。
- 島根県立古代出雲歴史博物館 2024『荒神谷発見！ —出雲の弥生文化—』。
- 仁木 聡 2007「四隅突出型墳丘墓の「配石構造」の系譜と展開」『四隅突出型墳丘墓と弥生母性の研究』島根県古代文化センター・島根県埋蔵文化財調査センター。
- 野島 永 2018「Ⅲ. 中国地方の弥生墳丘墓における標石と土器共献」『佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書』研究編、広島大学大学院文学研究科考古学研究室・庄原市教育委員会。
- 山田康弘 2000「山陰地方における列状配置墓域の展開」『島根考古学会誌』第17集。
- 山田康弘 2008「骨と人骨」『弥生時代の考古学』第8巻、集落からよむ弥生社会、同成社。
- 山田康弘 2014「山陰地方における弥生時代前期の墓地構造」『国立歴史民俗博物館研究報告』第185集。
- ピーター・メトカーフ, リチャード・ハンティントン (池上良正・池上富美子訳) 1991『死の儀礼』第2版、未来社。

参考文献および出典

報告書

- 一般財団法人米子市文化財団 2015『境矢石遺跡』。
- 邑智町教育委員会 2001『沖丈遺跡』。
- 隠岐島後教育委員会 1999『大城遺跡発掘調査報告書』。
- 鹿島町教育委員会 2005『堀部第1遺跡』。
- 公益財団法人鳥取市文化財団2017『重山墳墓群』。
- 江津市教育委員会 2012『波来浜遺跡—保存・活用のための確認調査報告書—』。
- 財団法人広島県埋蔵文化財調査センター 1987『佐田谷墳墓群』。
- 島根県教育委員会 1976「平所遺跡1」『国道9号バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 島根県教育委員会 1977「平所遺跡2」『国道9号バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書』
- 島根県教育委員会 2004『中野美保遺跡』。
- 島根県教育委員会 2006『青木遺跡Ⅱ（弥生～平安時代編）』。
- 島根県教育委員会 2006『原田遺跡（2）—2区の調査—』。
- 島根県教育委員会 2008『沖手遺跡 専光寺脇遺跡—中世の大規模集落遺跡と弥生時代の墳丘墓—』。
- 島根県教育委員会 2008『恵谷古墳群・岩鼻古墳群・上講武殿山城跡・砥石遺跡・沢下遺跡・元宮遺跡』。
- 島根県江津市 1973『波来浜遺跡発掘調査報告書—第1、2次緊急調査概報—』。
- 島根県古代文化センター・島根県埋蔵文化財調査センター 2003『宮山古墳群の研究』。
- 島根県古代文化センター・島根県埋蔵文化財調査センター 2007『順庵原1号墓の研究』。
- 島根大学考古学研究室・出雲弥生の森博物館 2015『西谷3号墓発掘調査報告書』。
- 庄原市教育委員会 2017『佐田谷・佐田峠墳墓群発掘調査報告書 調査編（2）』。
- 鳥取県 2017『新鳥取県史 考古1 旧石器・縄文・弥生時代』。
- 日下古墳群発掘調査団 1992『日下古墳群発掘調査報告書』。
- 藤田 等・赤澤秀則編 2005『古浦遺跡』古浦遺跡調査研究会・鹿島町教育委員会。
- 松江市教育委員会 1983『松江圏都市計画事業乃木土地区画整理事業区内埋蔵文化財発掘調査報告書』。
- 報告書 韓国語
- 東亞細亜文化研究院 2012『晋州虎灘洞先史遺蹟』(財)東亞細亜文化研究院發掘調査報告書第60輯。